

# I 神奈川県工業生産の動向

## 1 概要 ー生産指数は前年比△13.7%と3年連続して低下ー

### (1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、86.0で前年比13.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比4.0%低下し3期連続の低下、Ⅱ期も同15.0%低下、Ⅲ期は同5.7%上昇、Ⅳ期も同8.0%上昇しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、90.7で前年比10.3%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比0.0%の横ばい、Ⅱ期は同16.8%低下、Ⅲ期は同9.0%上昇、Ⅳ期も同5.7%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、88.7で前年比10.7%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比0.4%低下し3期連続の低下、Ⅱ期も同14.8%低下、Ⅲ期は同6.3%上昇、Ⅳ期も同4.9%上昇しました。

### (2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、81.4で前年比16.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比3.4%低下し3期連続の低下、Ⅱ期も同19.4%低下、Ⅲ期は同6.7%上昇、Ⅳ期も同5.2%上昇しました。

### (3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、94.8で前年末比16.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期末比6.4%低下し4期ぶりの低下、Ⅱ期も同11.4%低下、Ⅲ期も同1.1%低下、Ⅳ期は同0.3%上昇しました。

## ◎ 年間の動き

以上のように、生産・出荷指数（季節調整済指数）は、Ⅰ期、Ⅱ期は低下、Ⅲ期、Ⅳ期は上昇しました。在庫指数（同）の前期末比では、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期は低下、Ⅳ期は上昇しました。

また、生産・出荷指数（原指数）の前年同期比では、各期とも低下しました。在庫指数（同）の前年同期末比は、Ⅰ期は上昇、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期は低下しました。

県内の工業生産は3年連続して低下し、2020年は輸送機械工業や化学工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産の前年同期比では、各期とも低下しました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

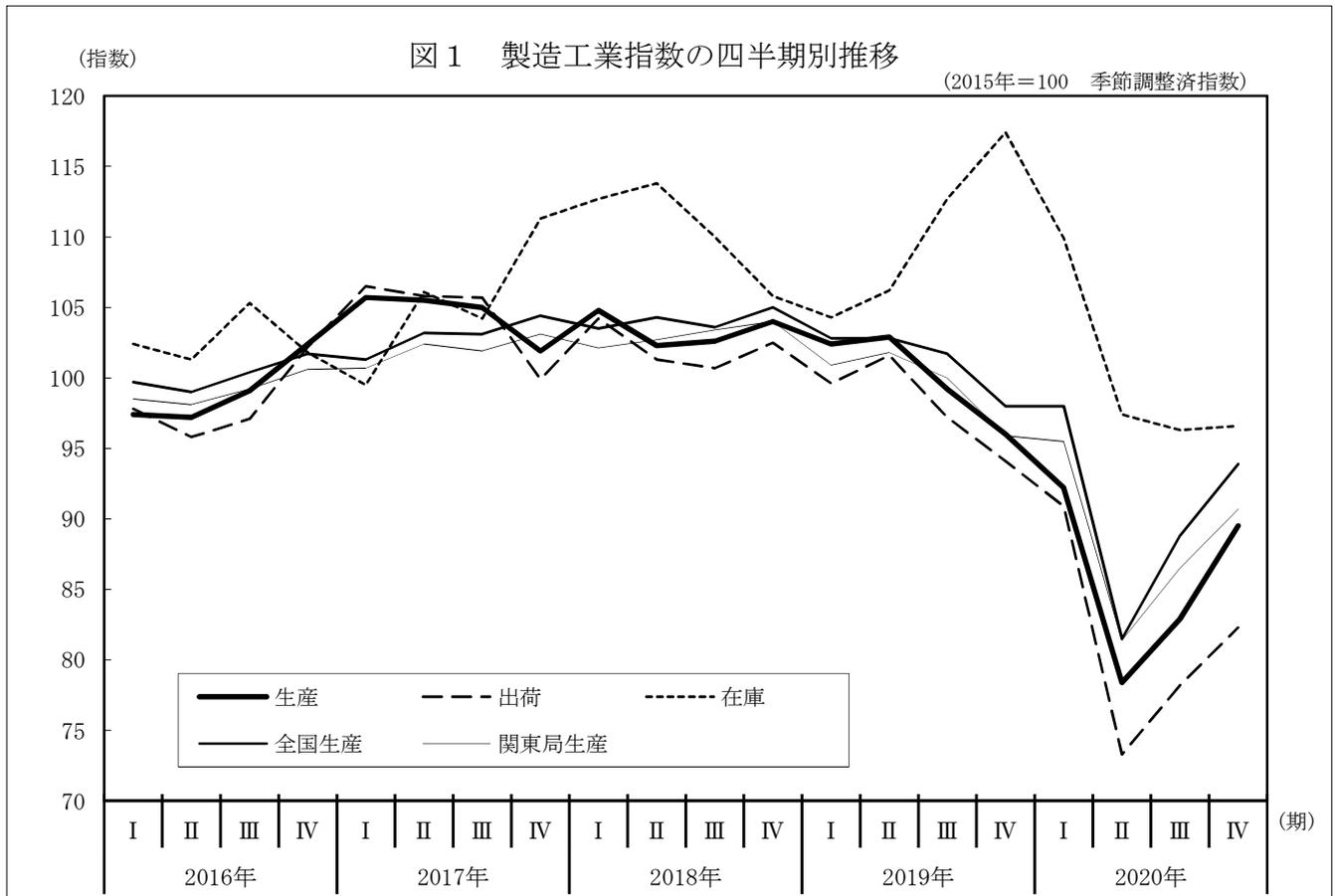


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(2015年=100)

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
							I	II	III	IV
神奈川県	指数	99.1	104.6	103.4	99.7	86.0	92.2	78.4	82.9	89.5
	生産	△ 0.9	5.5	△ 1.1	△ 3.6	△ 13.7	△ 4.0	△ 15.0	5.7	8.0
	対前年(期)増減率%	-	-	-	-	-	△ 10.4	△ 23.7	△ 16.1	△ 5.0
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出荷	指数	98.5	104.6	102.1	97.7	81.4	90.9	73.3	78.2	82.3
	生産	△ 1.5	6.2	△ 2.4	△ 4.3	△ 16.7	△ 3.4	△ 19.4	6.7	5.2
	対前年(期)増減率%	-	-	-	-	-	△ 9.2	△ 28.7	△ 20.1	△ 8.8
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
在庫	指数	98.8	108.1	101.9	114.1	94.8	109.9	97.4	96.3	96.6
	生産	0.9	9.4	△ 5.7	12.0	△ 16.9	△ 6.4	△ 11.4	△ 1.1	0.3
	対前年(期)末増減率%	-	-	-	-	-	4.4	△ 8.1	△ 14.5	△ 16.9
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	指数	100.0	103.1	104.2	101.1	90.7	98.0	81.5	88.8	93.9
	生産	0.0	3.1	1.1	△ 3.0	△ 10.3	0.0	△ 16.8	9.0	5.7
	対前年(期)増減率%	-	-	-	-	-	△ 4.6	△ 20.4	△ 13.0	△ 3.5
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関東経済産業局管内	指数	99.1	102.0	103.1	99.3	88.7	95.5	81.4	86.5	90.7
	生産	△ 0.9	2.9	1.1	△ 3.7	△ 10.7	△ 0.4	△ 14.8	6.3	4.9
	対前年(期)増減率%	-	-	-	-	-	△ 5.2	△ 19.1	△ 13.9	△ 4.9
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

\* 関東経済産業局管内：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の地域

#### (4) 業種別の動向

##### <生産>

業種別にみると、エンジン（自動車用）や小型乗用車などが減少した輸送機械工業（前年比30.7%低下）や、化粧品などが減少した化学工業（同12.4%低下）などすべての業種が低下しました。

##### <出荷>

業種別にみると、小型乗用車やエンジン（自動車用）などが減少した輸送機械工業（前年比31.5%低下）や、ガソリンなどが減少した石油・石炭製品工業（同22.9%低下）などすべての業種が低下しました。

##### <在庫>

業種別にみると、リチウムイオン蓄電池や換気扇などが減少した電気機械工業（前年末比65.4%低下）や合成洗剤などが減少した化学工業（同12.6%低下）など13業種が低下しました。

また、汎用内燃機関などが増加した汎用機械工業（前年末比6.1%上昇）など5業種が上昇しました。

（P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照）

図 2 生産指数増減率に対する業種別寄与度の推移

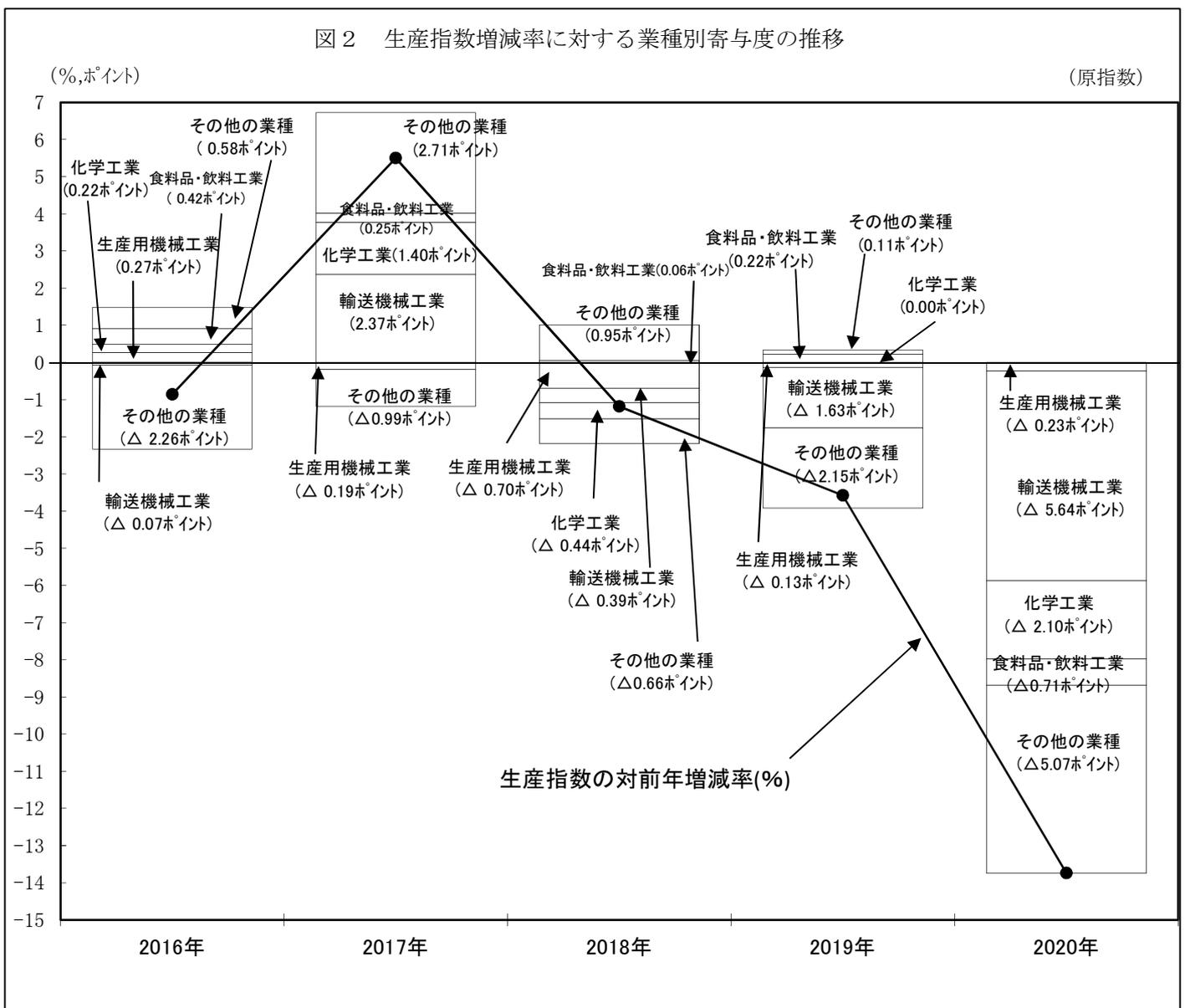


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 86.0 対前年増減率  $\Delta 13.7\%$  上昇0業種、低下20業種

業種	対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目		
低	輸送機械工業	$\Delta 30.7$	$\Delta 5.64$	増	—
				減	エンジン(自動車用)、小型乗用車、普通トラックなど
	化学工業	$\Delta 12.4$	$\Delta 2.10$	増	合成洗剤、漂白剤、フルオロカーボンなど
				減	化粧品、パラキシレン、プロピレンなど
	汎用機械工業	$\Delta 14.4$	$\Delta 0.88$	増	真空ポンプ、エレベータ
				減	蒸気タービン部品、一般用蒸気タービン、油圧機器など
	石油・石炭製品工業	$\Delta 28.6$	$\Delta 0.87$	増	B・C重油
				減	ガソリン、軽油、ジェット燃料油など
電気機械工業	$\Delta 13.9$	$\Delta 0.73$	増	交流電動機、電気溶接機、蛍光灯など	
			減	リチウムイオン蓄電池、自動車用照明器具、その他の電子応用装置など	
食料品・飲料工業	$\Delta 4.9$	$\Delta 0.71$	増	アイスクリーム、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、練乳・粉乳など	
			減	清涼飲料(炭酸飲料除く)、その他の調味料、ビール・発泡酒など	
生産用機械工業	$\Delta 2.7$	$\Delta 0.23$	増	半導体製造装置、プレス用金型、機械プレスなど	
			減	マシニングセンタ、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、個装・内装機械など	

(2) 出荷 年指数 81.4 対前年増減率  $\Delta 16.7\%$  上昇0業種、低下20業種

業種	対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目		
低	輸送機械工業	$\Delta 31.5$	$\Delta 7.88$	増	—
				減	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通トラックなど
	石油・石炭製品工業	$\Delta 22.9$	$\Delta 3.12$	増	B・C重油
				減	ガソリン、軽油、ジェット燃料油など
	化学工業	$\Delta 12.5$	$\Delta 1.59$	増	合成洗剤、漂白剤、フルオロカーボンなど
				減	化粧品、パラキシレン、プロピレンなど
	汎用機械工業	$\Delta 13.0$	$\Delta 0.59$	増	真空ポンプ、軸受、エレベータ
				減	一般用蒸気タービン、蒸気タービン部品、油圧機器など
鉄鋼業	$\Delta 15.9$	$\Delta 0.58$	増	鋳鋼・鍛鋼品	
			減	普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材、鉄系鍛工品など	
食料品・飲料工業	$\Delta 4.5$	$\Delta 0.53$	増	アイスクリーム、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、乳飲料など	
			減	清涼飲料(炭酸飲料除く)、その他の調味料、ビール・発泡酒など	
生産用機械工業	$\Delta 5.2$	$\Delta 0.32$	増	半導体製造装置、プレス用金型、機械プレスなど	
			減	マシニングセンタ、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、個装・内装機械など	

(3) 在庫 年指数 94.8 対前年末増減率  $\Delta 16.9\%$  上昇5業種、低下13業種

業種	対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目		
上	汎用機械工業	6.1	0.59	増	汎用内燃機関、ポンプ、真空ポンプ
				減	圧縮機、軸受、冷凍・空調用冷却塔
昇	食料品・飲料工業	8.1	0.44	増	果実酒、チョコレート、ビスケット類など
				減	あめ菓子、焼ちゅう、植物油搾かすなど
低	電気機械工業	$\Delta 65.4$	$\Delta 12.34$	増	—
				減	リチウムイオン蓄電池、換気扇、自動車用照明器具など
	化学工業	$\Delta 12.6$	$\Delta 2.97$	増	ポリプロピレングリコール、漂白剤、界面活性剤など
				減	合成洗剤、ポリエチレン、写真フィルムなど
鉄鋼業	$\Delta 14.3$	$\Delta 0.86$	増	普通鋼鋼帯、普通鋼管材、普通鋼鋼管	
			減	めっき鋼材、鋼半製品、鋳鋼・鍛鋼品など	
下	輸送機械工業	$\Delta 3.1$	$\Delta 0.22$	増	小型乗用車、小型トラック、普通乗用車
				減	普通トラック、大型バス、けん引車
生産用機械工業	$\Delta 1.4$	$\Delta 0.03$	増	研削盤、数値制御放電加工機、特殊鋼切削工具	
			減	マシニングセンタ、C(W)BN工具、収穫調整用機器など	

表 3

## 業種別年指数・対前年増減率

(2015年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		2017年	2018年	2019年	2020年	2017年	2018年	2019年	2020年	2017年	2018年	2019年	2020年	2017年	2018年	2019年	2020年
製 造 工 業	指 数	104.6	103.4	99.7	86.0	104.6	102.1	97.7	81.4	108.1	101.9	114.1	94.8	104.2	108.7	114.7	136.6
	対前年増減率%	5.5	△ 1.1	△ 3.6	△ 13.7	6.2	△ 2.4	△ 4.3	△ 16.7	9.4	△ 5.7	12.0	△ 16.9	△ 2.0	4.3	5.5	19.1
鉄 鋼 業	指 数	97.5	95.5	83.7	64.8	99.2	99.7	92.8	78.0	97.2	102.2	90.3	77.4	102.0	102.9	105.5	113.2
	対前年増減率%	△ 1.3	△ 2.1	△ 12.4	△ 22.6	1.1	0.5	△ 6.9	△ 15.9	3.1	5.1	△ 11.6	△ 14.3	5.2	0.9	2.5	7.3
非鉄金属 工 業	指 数	110.7	113.3	108.2	104.4	107.4	108.5	104.0	100.9	84.9	111.8	101.8	90.3	71.5	95.3	101.9	110.4
	対前年増減率%	5.6	2.3	△ 4.5	△ 3.5	3.5	1.0	△ 4.1	△ 3.0	25.2	31.7	△ 8.9	△ 11.3	△ 12.6	33.3	6.9	8.3
金属製品 工 業	指 数	89.1	87.5	85.4	76.8	87.6	86.5	83.4	72.5	99.3	50.4	50.0	47.5	127.5	68.0	60.2	72.9
	対前年増減率%	△ 5.4	△ 1.8	△ 2.4	△ 10.1	△ 8.9	△ 1.3	△ 3.6	△ 13.1	21.2	△ 49.2	△ 0.8	△ 5.0	22.1	△ 46.7	△ 11.5	21.1
汎用機械 工 業	指 数	104.2	113.2	99.3	85.0	100.5	108.4	96.1	83.6	109.9	131.4	138.3	146.7	97.9	103.3	135.3	135.8
	対前年増減率%	9.7	8.6	△ 12.3	△ 14.4	8.2	7.9	△ 11.3	△ 13.0	8.5	19.6	5.3	6.1	1.1	5.5	31.0	0.4
生産用機械 工 業	指 数	100.8	92.9	91.4	88.9	103.8	89.8	88.9	84.3	105.3	106.8	63.3	62.4	132.6	159.6	120.2	111.3
	対前年増減率%	△ 2.0	△ 7.8	△ 1.6	△ 2.7	1.4	△ 13.5	△ 1.0	△ 5.2	△ 14.5	1.4	△ 40.7	△ 1.4	49.8	20.4	△ 24.7	△ 7.4
業務用機械 工 業	指 数	99.9	107.5	104.8	84.6	103.2	110.9	111.9	98.3	115.0	101.5	126.0	83.1	125.9	126.4	118.4	117.8
	対前年増減率%	7.8	7.6	△ 2.5	△ 19.3	9.9	7.5	0.9	△ 12.2	8.2	△ 11.7	24.1	△ 34.0	10.7	0.4	△ 6.3	△ 0.5
電子部品・ デバイス工業	指 数	104.9	103.4	99.4	90.7	104.3	103.4	99.9	89.6	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前年増減率%	12.7	△ 1.4	△ 3.9	△ 8.8	15.4	△ 0.9	△ 3.4	△ 10.3	X	X	X	X	X	X	X	X
電気機械 工 業	指 数	114.6	117.8	110.0	94.7	119.2	128.5	110.6	100.2	258.8	120.9	351.4	121.7	121.5	109.4	120.0	227.7
	対前年増減率%	12.0	2.8	△ 6.6	△ 13.9	9.1	7.8	△ 13.9	△ 9.4	13.7	△ 53.3	190.7	△ 65.4	34.3	△ 10.0	9.7	89.8
情報通信 機械工業	指 数	82.1	81.5	82.9	79.3	79.6	77.1	77.4	74.2	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前年増減率%	△ 8.8	△ 0.7	1.7	△ 4.3	△ 10.6	△ 3.1	0.4	△ 4.1	X	X	X	X	X	X	X	X
輸送機械 工 業	指 数	112.5	110.3	101.0	70.0	114.6	113.7	101.9	69.8	90.6	65.3	80.6	78.1	90.0	98.1	91.3	123.1
	対前年増減率%	13.0	△ 2.0	△ 8.4	△ 30.7	14.5	△ 0.8	△ 10.4	△ 31.5	63.5	△ 27.9	23.4	△ 3.1	△ 9.5	9.0	△ 6.9	34.8
窯業・土石 製品工業	指 数	113.9	118.0	113.1	104.1	109.4	114.4	109.1	99.8	123.1	119.7	119.9	109.0	116.3	120.8	140.4	156.4
	対前年増減率%	8.6	3.6	△ 4.2	△ 8.0	5.3	4.6	△ 4.6	△ 8.5	12.6	△ 2.8	0.2	△ 9.1	7.6	3.9	16.2	11.4
化学工業	指 数	110.2	107.3	107.3	94.0	108.6	104.3	105.8	92.6	108.0	126.7	125.4	109.6	108.5	129.5	144.9	154.4
	対前年増減率%	8.7	△ 2.6	0.0	△ 12.4	7.3	△ 4.0	1.4	△ 12.5	10.3	17.3	△ 1.0	△ 12.6	△ 15.7	19.4	11.9	6.6
石油・石炭 製品工業	指 数	96.8	86.4	86.4	61.7	96.2	86.6	87.6	67.5	72.9	73.1	69.2	72.8	93.3	91.0	92.2	133.9
	対前年増減率%	10.4	△ 10.7	0.0	△ 28.6	5.7	△ 10.0	1.2	△ 22.9	△ 12.7	0.3	△ 5.3	5.2	△ 13.2	△ 2.5	1.3	45.2
プラスチック 製品工業	指 数	113.6	113.0	105.1	91.1	113.3	112.8	105.8	93.6	105.7	123.2	128.8	118.9	90.0	106.5	117.4	133.4
	対前年増減率%	13.7	△ 0.5	△ 7.0	△ 13.3	14.3	△ 0.4	△ 6.2	△ 11.5	10.0	16.6	4.5	△ 7.7	△ 15.0	18.3	10.2	13.6
紙・紙加工品 工 業	指 数	102.2	105.2	106.7	103.9	103.5	104.4	100.0	93.6	124.1	93.6	118.9	136.2	144.4	118.8	114.7	155.3
	対前年増減率%	0.7	2.9	1.4	△ 2.6	5.4	0.9	△ 4.2	△ 6.4	△ 10.2	△ 24.6	27.0	14.6	1.8	△ 17.7	△ 3.5	35.4
繊維工業	指 数	94.0	98.3	95.1	92.1	98.2	98.0	94.7	92.0	90.9	96.3	114.1	106.6	110.4	110.2	133.4	143.1
	対前年増減率%	△ 4.5	4.6	△ 3.3	△ 3.2	△ 2.9	△ 0.2	△ 3.4	△ 2.9	△ 24.0	5.9	18.5	△ 6.6	△ 9.9	△ 0.2	21.1	7.3
食料品・ 飲料工業	指 数	104.9	105.4	107.1	101.9	104.2	104.9	105.6	100.9	101.7	103.3	89.1	96.3	100.3	103.1	104.0	105.6
	対前年増減率%	1.7	0.5	1.6	△ 4.9	1.5	0.7	0.7	△ 4.5	6.8	1.6	△ 13.7	8.1	0.0	2.8	0.9	1.5
ゴム製品 工 業	指 数	76.3	75.3	69.9	58.3	77.4	76.6	71.7	62.2	64.7	81.4	99.2	87.7	102.9	113.5	158.1	180.6
	対前年増減率%	△ 3.2	△ 1.3	△ 7.2	△ 16.6	△ 5.3	△ 1.0	△ 6.4	△ 13.2	△ 0.2	25.8	21.9	△ 11.6	△ 6.1	10.3	39.3	14.2
家具工業	指 数	124.2	112.8	111.4	95.4	129.2	117.2	120.8	103.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 8.3	△ 9.2	△ 1.2	△ 14.4	△ 8.4	△ 9.3	3.1	△ 14.4	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	97.8	94.5	90.3	75.2	97.1	93.6	89.3	73.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 3.1	△ 3.4	△ 4.4	△ 16.7	△ 3.2	△ 3.6	△ 4.6	△ 17.7	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機械工業	指 数	104.5	103.6	97.3	80.7	107.6	106.4	97.5	77.4	132.4	100.8	148.1	101.5	107.6	112.5	115.5	150.4
	対前年増減率%	6.6	△ 0.9	△ 6.1	△ 17.1	9.0	△ 1.1	△ 8.4	△ 20.6	15.3	△ 23.9	46.9	△ 31.5	11.3	4.6	2.7	30.2

\*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

\*機械工業は参考系列(P82 業種分類参照)

表 4

## 2020年業種別四半期指数・対前期増減率

(2015年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	92.2	78.4	82.9	89.5	90.9	73.3	78.2	82.3	109.9	97.4	96.3	96.6	120.3	171.9	131.4	121.8
	対前期増減率%	△ 4.0	△ 15.0	5.7	8.0	△ 3.4	△ 19.4	6.7	5.2	△ 6.4	△ 11.4	△ 1.1	0.3	0.8	42.9	△ 23.6	△ 7.3
鉄 鋼 業	指 数	76.8	55.1	60.2	64.8	86.7	72.3	73.9	79.8	90.9	81.0	78.2	78.7	104.6	127.3	114.7	105.9
	対前期増減率%	0.8	△ 28.3	9.3	7.6	2.6	△ 16.6	2.2	8.0	△ 1.8	△ 10.9	△ 3.5	0.6	△ 6.5	21.7	△ 9.9	△ 7.7
非鉄金属 工 業	指 数	108.2	95.4	108.9	104.3	104.3	95.0	103.8	99.9	101.7	95.5	89.2	88.8	108.3	118.3	110.9	103.4
	対前期増減率%	1.8	△ 11.8	14.2	△ 4.2	0.4	△ 8.9	9.3	△ 3.8	4.8	△ 6.1	△ 6.6	△ 0.4	11.4	9.2	△ 6.3	△ 6.8
金属製品 工 業	指 数	78.5	67.0	73.5	84.1	77.4	62.0	69.8	78.7	53.6	49.2	48.1	48.4	66.0	87.4	69.6	66.8
	対前期増減率%	△ 9.9	△ 14.6	9.7	14.4	△ 6.6	△ 19.9	12.6	12.8	4.7	△ 8.2	△ 2.2	0.6	8.0	32.4	△ 20.4	△ 4.0
汎用機械 工 業	指 数	87.5	81.2	87.0	81.5	87.0	79.1	84.7	80.9	132.0	133.1	138.4	146.4	133.8	129.0	135.3	146.5
	対前期増減率%	△ 6.5	△ 7.2	7.1	△ 6.3	△ 7.2	△ 9.1	7.1	△ 4.5	△ 6.4	0.8	4.0	5.8	△ 4.2	△ 3.6	4.9	8.3
生産用機械 工 業	指 数	88.9	84.9	85.5	101.3	97.7	84.2	74.9	82.5	54.8	58.1	60.2	58.6	99.5	110.4	141.3	108.5
	対前期増減率%	△ 8.4	△ 4.5	0.7	18.5	△ 3.0	△ 13.8	△ 11.0	10.1	△ 9.9	6.0	3.6	△ 2.7	13.6	11.0	28.0	△ 23.2
業務用機械 工 業	指 数	94.1	94.4	76.8	72.7	110.9	102.2	87.3	92.6	104.8	92.5	88.1	81.6	103.9	106.9	128.9	129.5
	対前期増減率%	△ 0.8	0.3	△ 18.6	△ 5.3	0.0	△ 7.8	△ 14.6	6.1	△ 18.6	△ 11.7	△ 4.8	△ 7.4	△ 16.3	2.9	20.6	0.5
電子部品・ デバイス工業	指 数	99.5	87.4	79.9	95.9	92.3	80.3	84.4	98.5	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前期増減率%	0.2	△ 12.2	△ 8.6	20.0	△ 9.8	△ 13.0	5.1	16.7	X	X	X	X	X	X	X	X
電気機械 工 業	指 数	104.4	83.7	79.0	111.3	116.8	80.6	93.0	105.1	321.0	92.1	121.7	119.8	132.4	516.1	134.4	95.7
	対前期増減率%	4.4	△ 19.8	△ 5.6	40.9	17.0	△ 31.0	15.4	13.0	△ 6.5	△ 71.3	32.1	△ 1.6	△ 19.0	289.8	△ 74.0	△ 28.8
情報通信 機械工業	指 数	80.8	72.6	81.3	77.7	73.2	71.3	78.9	71.0	X	X	X	X	X	X	X	X
	対前期増減率%	0.7	△ 10.1	12.0	△ 4.4	△ 1.1	△ 2.6	10.7	△ 10.0	X	X	X	X	X	X	X	X
輸送機械 工 業	指 数	86.1	51.9	63.5	73.7	90.4	50.9	61.8	72.3	73.5	57.6	56.4	75.3	98.1	153.7	96.2	128.4
	対前期増減率%	△ 5.3	△ 39.7	22.4	16.1	0.0	△ 43.7	21.4	17.0	△ 19.8	△ 21.6	△ 2.1	33.5	△ 0.8	56.7	△ 37.4	33.5
窯業・土石 製品工業	指 数	108.7	90.7	102.4	113.0	103.8	90.5	99.6	104.8	132.8	115.8	108.1	115.4	161.7	177.9	154.8	128.7
	対前期増減率%	2.9	△ 16.6	12.9	10.4	2.0	△ 12.8	10.1	5.2	6.6	△ 12.8	△ 6.6	6.8	9.9	10.0	△ 13.0	△ 16.9
化学工業	指 数	94.5	89.9	96.7	94.6	92.8	87.8	96.3	93.4	127.4	129.5	129.6	117.3	153.4	171.8	149.1	142.0
	対前期増減率%	△ 8.1	△ 4.9	7.6	△ 2.2	△ 8.5	△ 5.4	9.7	△ 3.0	△ 3.4	1.6	0.1	△ 9.5	4.0	12.0	△ 13.2	△ 4.8
石油・石炭 製品工業	指 数	65.2	57.1	56.1	66.6	75.6	61.3	62.4	69.5	70.4	75.3	69.2	76.6	108.6	152.7	145.9	121.3
	対前期増減率%	△ 19.3	△ 12.4	△ 1.8	18.7	△ 9.2	△ 18.9	1.8	11.4	△ 4.7	7.0	△ 8.1	10.7	6.1	40.6	△ 4.5	△ 16.9
プラスチック 製品工業	指 数	98.0	77.7	88.3	98.9	100.4	80.8	91.7	99.9	125.2	128.8	130.4	120.6	123.8	151.2	136.4	119.8
	対前期増減率%	△ 1.2	△ 20.7	13.6	12.0	1.1	△ 19.5	13.5	8.9	△ 3.3	2.9	1.2	△ 7.5	△ 2.6	22.1	△ 9.8	△ 12.2
紙・紙加工品 工 業	指 数	107.4	103.3	104.5	100.0	105.5	85.0	90.5	91.4	88.9	143.4	169.1	151.8	118.6	151.8	172.6	166.2
	対前期増減率%	1.3	△ 3.8	1.2	△ 4.3	13.9	△ 19.4	6.5	1.0	△ 34.7	61.3	17.9	△ 10.2	△ 10.4	28.0	13.7	△ 3.7
繊維工業	指 数	95.3	84.8	89.5	98.5	95.6	83.1	88.0	99.4	117.1	106.2	112.6	108.8	113.2	211.0	140.1	106.4
	対前期増減率%	0.0	△ 11.0	5.5	10.1	1.1	△ 13.1	5.9	13.0	2.0	△ 9.3	6.0	△ 3.4	△ 19.8	86.4	△ 33.6	△ 24.1
食料品・ 飲料工業	指 数	104.6	101.3	102.3	100.5	103.3	99.4	101.7	99.2	97.8	101.8	103.8	101.6	103.7	113.8	105.9	103.3
	対前期増減率%	0.2	△ 3.2	1.0	△ 1.8	△ 1.2	△ 3.8	2.3	△ 2.5	7.0	4.1	2.0	△ 2.1	△ 2.7	9.7	△ 6.9	△ 2.5
ゴム製品 工 業	指 数	66.0	56.4	53.8	55.3	72.1	58.0	61.6	56.9	100.7	101.9	93.1	96.1	163.1	198.8	170.3	189.8
	対前期増減率%	△ 3.9	△ 14.5	△ 4.6	2.8	0.6	△ 19.6	6.2	△ 7.6	△ 7.7	1.2	△ 8.6	3.2	△ 3.1	21.9	△ 14.3	11.5
家具工業	指 数	111.5	97.5	84.5	83.1	122.4	107.5	90.8	90.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 1.4	△ 12.6	△ 13.3	△ 1.7	△ 1.9	△ 12.2	△ 15.5	△ 0.9	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	80.4	69.7	72.0	77.6	79.3	68.5	70.6	74.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 6.8	△ 13.3	3.3	7.8	△ 6.4	△ 13.6	3.1	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機 械 工 業	指 数	90.2	69.5	75.1	86.0	92.2	64.5	71.6	78.1	133.4	89.8	90.9	98.7	119.2	220.6	128.9	127.7
	対前期増減率%	△ 2.9	△ 22.9	8.1	14.5	△ 0.1	△ 30.0	11.0	9.1	△ 11.4	△ 32.7	1.2	8.6	△ 2.1	85.1	△ 41.6	△ 0.9

\*生産・出荷・在庫率は3か月平均(3か月平均比)、在庫は期末(期末比)

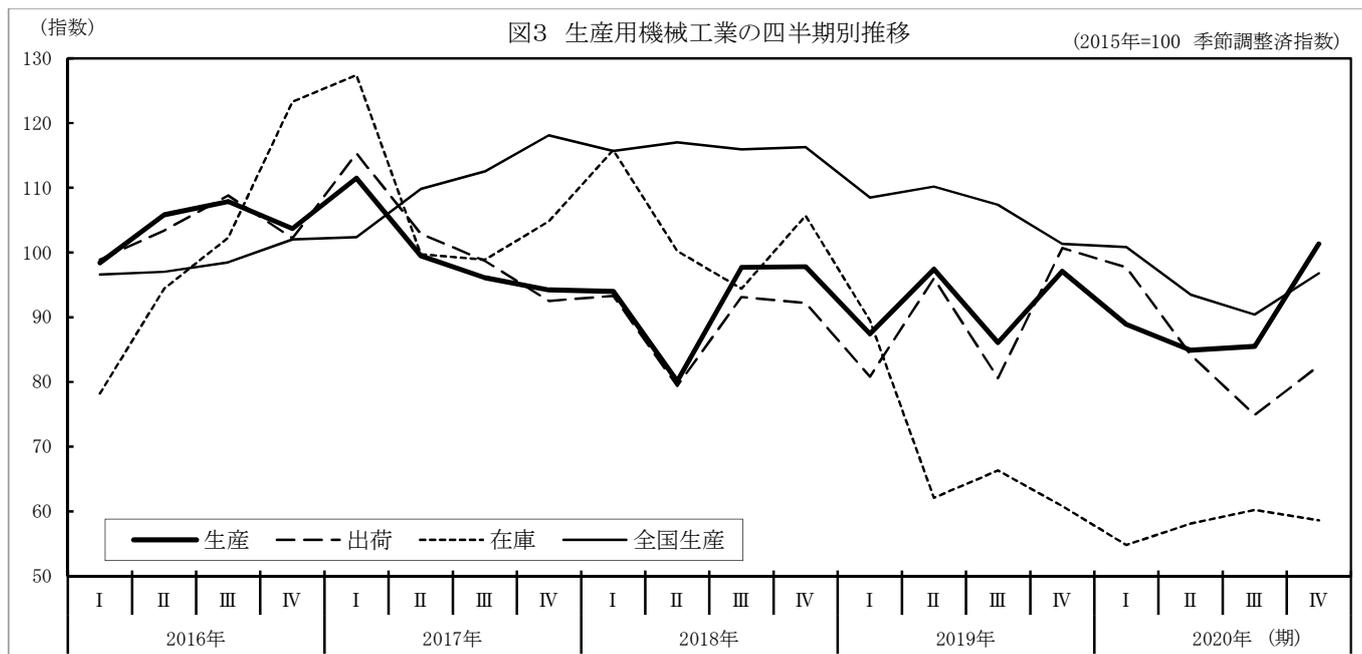
\*機械工業は参考系列(P82 業種分類参照)

## 2 各業種の動向

### (1) 主要業種の動向

#### <生産用機械工業>

—生産は4年連続の低下、出荷は3年連続の低下—



#### <生産>

生産指数(原指数)は、88.9で前年比2.7%低下し、4年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.4%低下、II期も同4.5%低下、III期は同0.7%上昇、IV期も同18.5%上昇しました。

品目別にみると、マシニングセンタやフラットパネル・ディスプレイ製造装置などが減少し、半導体製造装置などが増加しました。

また、全国の生産用機械工業の生産指数(原指数)は、95.3で前年比10.3%低下し、2年連続して低下しました。

#### <出荷>

出荷指数(原指数)は、84.3で前年比5.2%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比3.0%低下、II期も同13.8%低下、III期も同11.0%低下、IV期は同10.1%上昇しました。

品目別にみると、マシニングセンタやフラットパネル・ディスプレイ製造装置などが減少し、半導体製造装置などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、62.4で前年末比1.4%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比9.9%低下、II期は同6.0%上昇、III期も同3.6%上昇、IV期は同2.7%低下しました。

品目別にみると、マシニングセンタやC(W)BN工具などが減少し、研削盤などが増加しました。

表5 生産用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

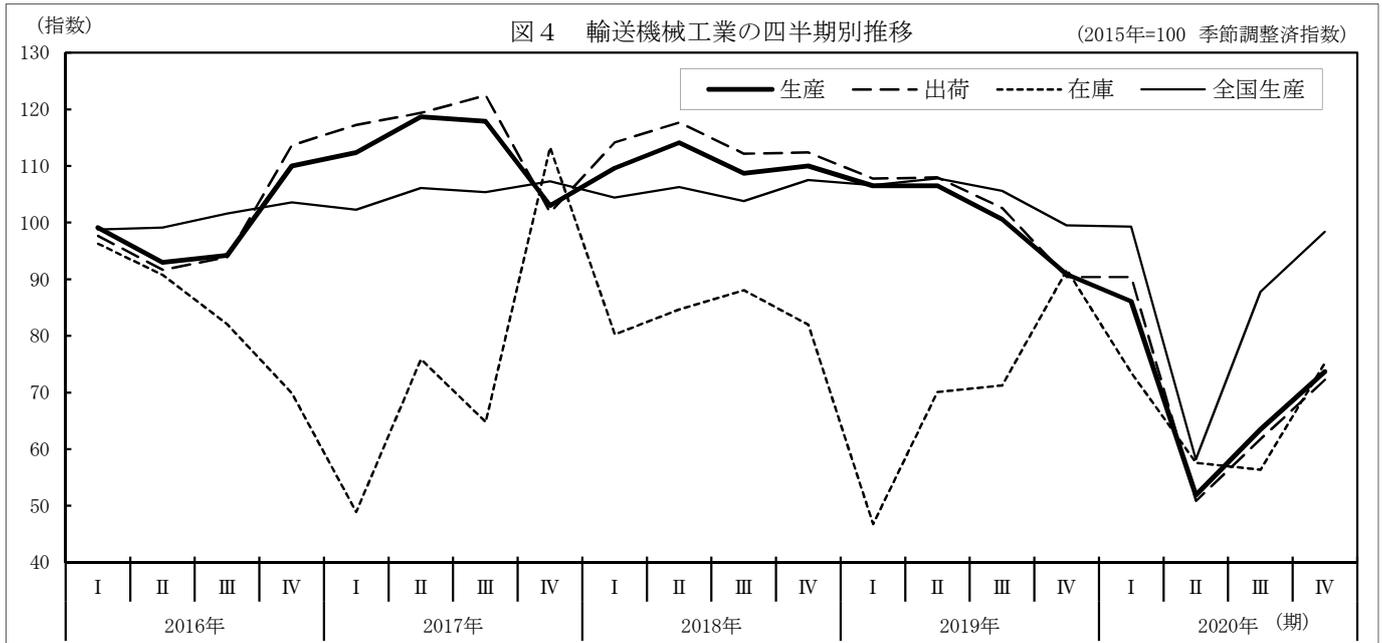
		2019年	2020年	2020年				上昇又は低下に寄与した主な品目
				I	II	III	IV	
生産	指数	91.4	88.9	88.9	84.9	85.5	101.3	増 半導体製造装置、プレス用金型、機械プレスなど 減 マシニングセンタ、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、個装・内装機械など
	対前年(期)増減率%	△ 1.6	△ 2.7	△ 8.4	△ 4.5	0.7	18.5	
出荷	指数	88.9	84.3	97.7	84.2	74.9	82.5	増 半導体製造装置、プレス用金型、機械プレスなど 減 マシニングセンタ、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、個装・内装機械など
	対前年(期)増減率%	△ 1.0	△ 5.2	△ 3.0	△ 13.8	△ 11.0	10.1	
在庫	指数	63.3	62.4	54.8	58.1	60.2	58.6	増 研削盤、数値制御放電加工機、特殊鋼切削工具 減 マシニングセンタ、C(W)BN工具、収穫調整用機器など
	対前年(期)末増減率%	△ 40.7	△ 1.4	△ 9.9	6.0	3.6	△ 2.7	

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

<輸送機械工業>

—生産、出荷とも3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、70.0で前年比30.7%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比5.3%低下、II期も同39.7%低下、III期は同22.4%上昇、IV期も同16.1%上昇しました。

品目別にみると、エンジン(自動車用)や小型乗用車などが減少しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、86.5で前年比17.5%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、69.8で前年比31.5%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.0%で横ばい、II期は同43.7%低下、III期は同21.4%上昇、IV期も同17.0%上昇しました。

品目別にみると、小型乗用車やエンジン(自動車用)などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、78.1で前年末比3.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比19.8%低下、II期も同21.6%低下、III期も同2.1%低下、IV期は同33.5%上昇しました。

品目別にみると、普通トラックや大型バスなどが減少し、小型乗用車などが増加しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

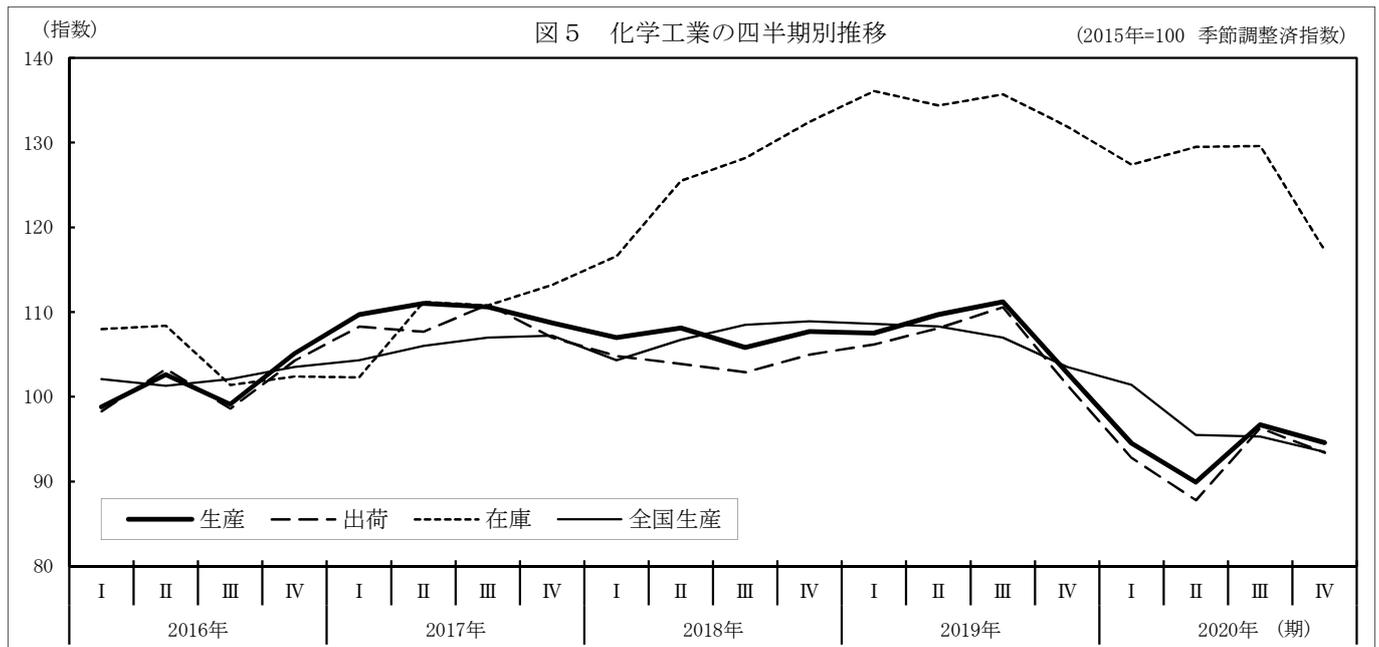
		2019年		2020年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	101.0	70.0	86.1	51.9	63.5	73.7	—	—
	対前年(期)増減率%	△ 8.4	△ 30.7	△ 5.3	△ 39.7	22.4	16.1	—	エンジン(自動車用)、小型乗用車、普通トラックなど
出荷	指数	101.9	69.8	90.4	50.9	61.8	72.3	—	—
	対前年(期)増減率%	△ 10.4	△ 31.5	0.0	△ 43.7	21.4	17.0	—	小型乗用車、エンジン(自動車用)、普通トラックなど
在庫	指数	80.6	78.1	73.5	57.6	56.4	75.3	—	—
	対前年(期)末増減率%	23.4	△ 3.1	△ 19.8	△ 21.6	△ 2.1	33.5	—	小型乗用車、小型トラック、普通乗用車
								増	普通トラック、大型バス、けん引車
								減	—

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

＜化学工業＞

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、94.0で前年比12.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.1%低下、II期も同4.9%低下、III期は同7.6%上昇、IV期は同2.2%低下しました。

品目別にみると、化粧品やパラキシレンなどが減少し、合成洗剤などが増加しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、96.3で前年比9.6%低下し、2年連続して低下しました。

＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、92.6で前年比12.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.5%低下、II期も同5.4%低下、III期は同9.7%上昇、IV期は同3.0%低下しました。

品目別にみると、化粧品やパラキシレンなどが減少し、合成洗剤などが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、109.6で前年末比12.6%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比3.4%低下、II期は同1.6%上昇、III期も同0.1%上昇、IV期は同9.5%低下しました。

品目別にみると、合成洗剤やポリエチレンなどが減少し、ポリプロピレングリコールなどが増加しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

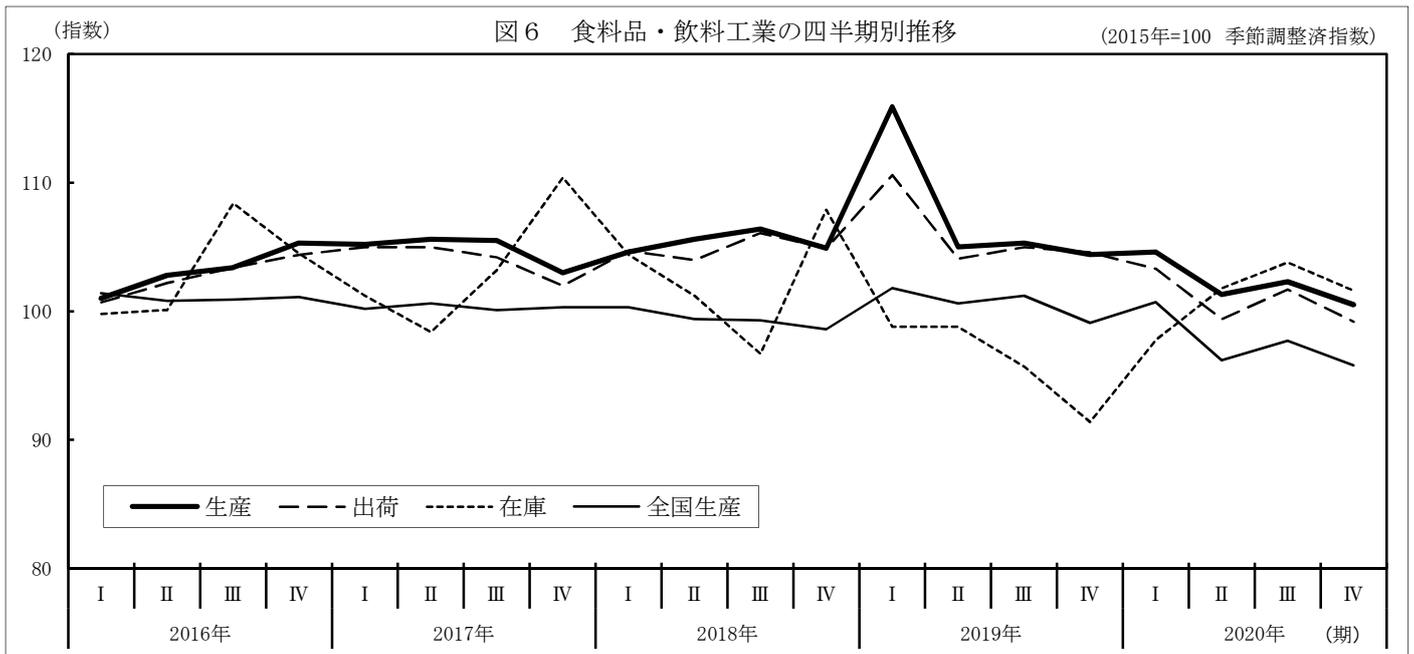
		2019年	2020年	上 昇 又 は 低 下 に 寄 与 し た 主 な 品 目				
				I	II	III	IV	
生産	指 数	107.3	94.0	94.5	89.9	96.7	94.6	増 合成洗剤、漂白剤、フルオロカーボンなど 減 化粧品、パラキシレン、プロピレンなど
	対前年(期)増減率%	0.0	△ 12.4	△ 8.1	△ 4.9	7.6	△ 2.2	
出荷	指 数	105.8	92.6	92.8	87.8	96.3	93.4	増 合成洗剤、漂白剤、フルオロカーボンなど 減 化粧品、パラキシレン、プロピレンなど
	対前年(期)増減率%	1.4	△ 12.5	△ 8.5	△ 5.4	9.7	△ 3.0	
在庫	指 数	125.4	109.6	127.4	129.5	129.6	117.3	増 ポリプロピレングリコール、漂白剤、界面活性剤など 減 合成洗剤、ポリエチレン、写真フィルムなど
	対前年(期)末増減率%	△ 1.0	△ 12.6	△ 3.4	1.6	0.1	△ 9.5	

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産、出荷とも6年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、101.9で前年比4.9%低下し、6年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.2%上昇、II期は同3.2%低下、III期は同1.0%上昇、IV期は同1.8%低下しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)やその他の調味料などが減少し、アイスクリームなどが増加しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、97.6で前年比3.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、100.9で前年比4.5%低下し、6年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.2%低下、II期も同3.8%低下、III期は同2.3%上昇、IV期は同2.5%低下しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)やその他の調味料などが減少し、アイスクリームなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、96.3で前年末比8.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比7.0%上昇、II期も同4.1%上昇、III期も同2.0%上昇、IV期は同2.1%低下しました。

品目別にみると、果実酒やチョコレートなどが増加し、あめ菓子などが減少しました。

表8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		2019年		2020年				上昇又は低下に寄与した主な品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV		
生産	指数	107.1	101.9	104.6	101.3	102.3	100.5	増 減	アイスクリーム、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、練乳・粉乳など 清涼飲料(炭酸飲料除く)、その他の調味料、ビール・発泡酒など
	対前年(期)増減率%	1.6	△ 4.9	0.2	△ 3.2	1.0	△ 1.8		
出荷	指数	105.6	100.9	103.3	99.4	101.7	99.2	増 減	アイスクリーム、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、乳飲料など 清涼飲料(炭酸飲料除く)、その他の調味料、ビール・発泡酒など
	対前年(期)増減率%	0.7	△ 4.5	△ 1.2	△ 3.8	2.3	△ 2.5		
在庫	指数	89.1	96.3	97.8	101.8	103.8	101.6	増 減	果実酒、チョコレート、ビスケット類など あめ菓子、焼ちゅう、植物油搾かすなど
	対前年(期)末増減率%	△ 13.7	8.1	7.0	4.1	2.0	△ 2.1		

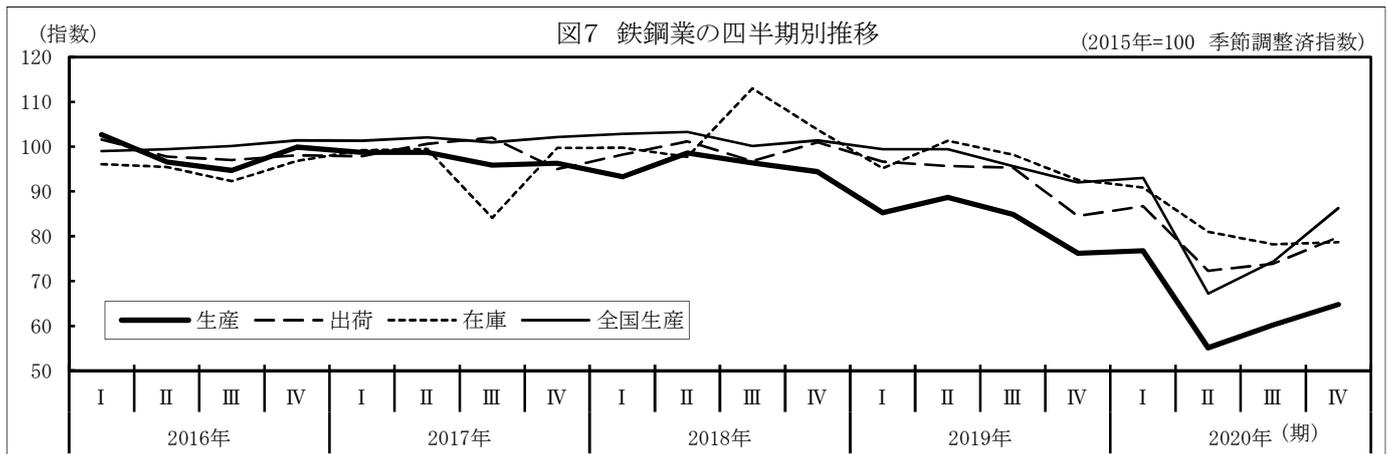
\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

\*品目順は寄与度順に列記

## (2) その他の業種の動向

### <鉄鋼業>

－生産は6年連続の低下、出荷は2年連続の低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、64.8で前年比22.6%低下し、6年連続して低下しました。  
品目別にみると、鉄系鍛工品やめっき鋼材などが減少しました。  
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、80.1で前年比16.9%低下し、2年連続して低下しました。

#### <出荷>

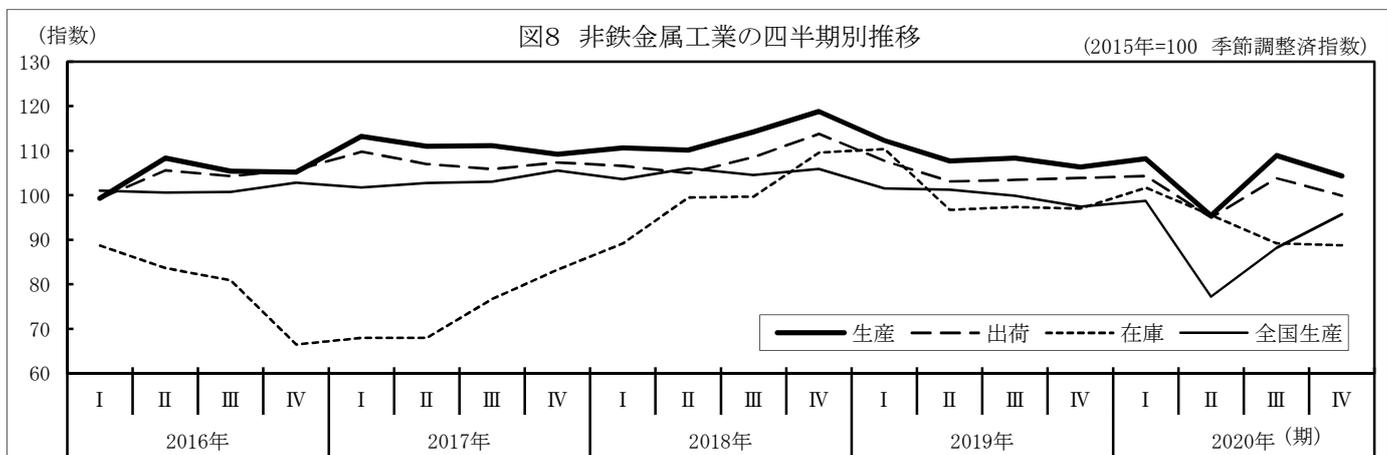
出荷指数(原指数)は、78.0で前年比15.9%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、普通鋼鋼板や特殊鋼熱間圧延鋼材などが減少し、鋳鋼・鍛鋼品が増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、77.4で前年末比14.3%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、めっき鋼材や鋼半製品などが減少し、普通鋼鋼帯などが増加しました。

### <非鉄金属工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、104.4で前年比3.5%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、ダイカストや伸銅製品などが減少し、光ファイバ通信用ケーブルが増加しました。  
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、90.0で前年比9.9%低下し、2年連続して低下しました。

#### <出荷>

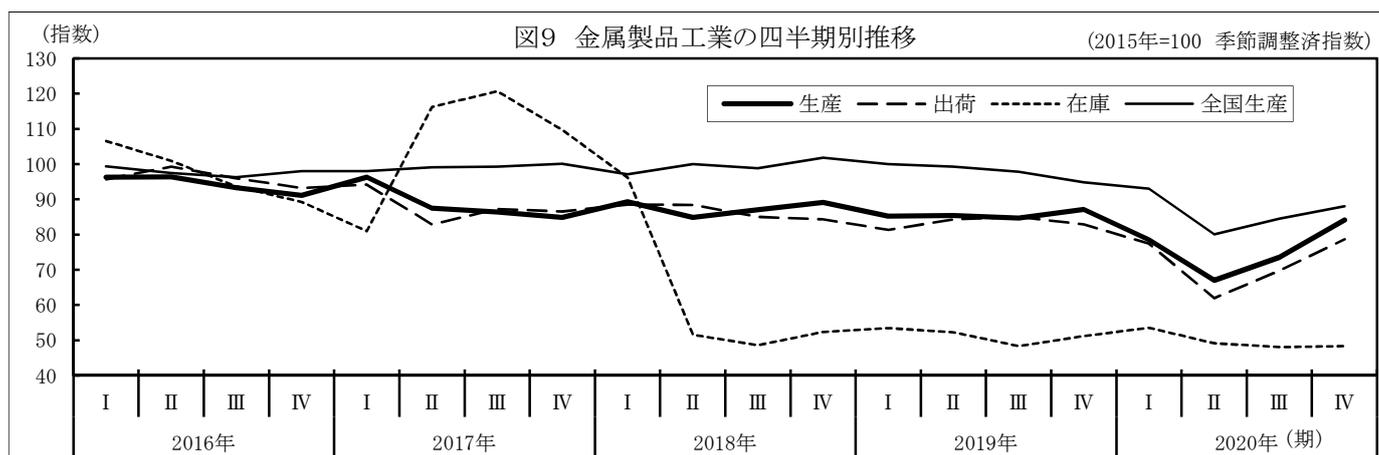
出荷指数(原指数)は、100.9で前年比3.0%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、伸銅製品やダイカストなどが減少し、光ファイバ通信用ケーブルが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、90.3で前年末比11.3%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、伸銅製品や電力用電線・ケーブルが減少し、銅電線などが増加しました。

## <金属製品工業>

### －生産、出荷とも8年連続の低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、76.8で前年比10.1%低下し、8年連続して低下しました。  
品目別にみると、ばねや飲料用アルミ缶などが減少し、バンディングロール成型鋼管などが増加しました。  
また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、86.5で前年比11.5%低下し、2年連続して低下しました。

#### <出荷>

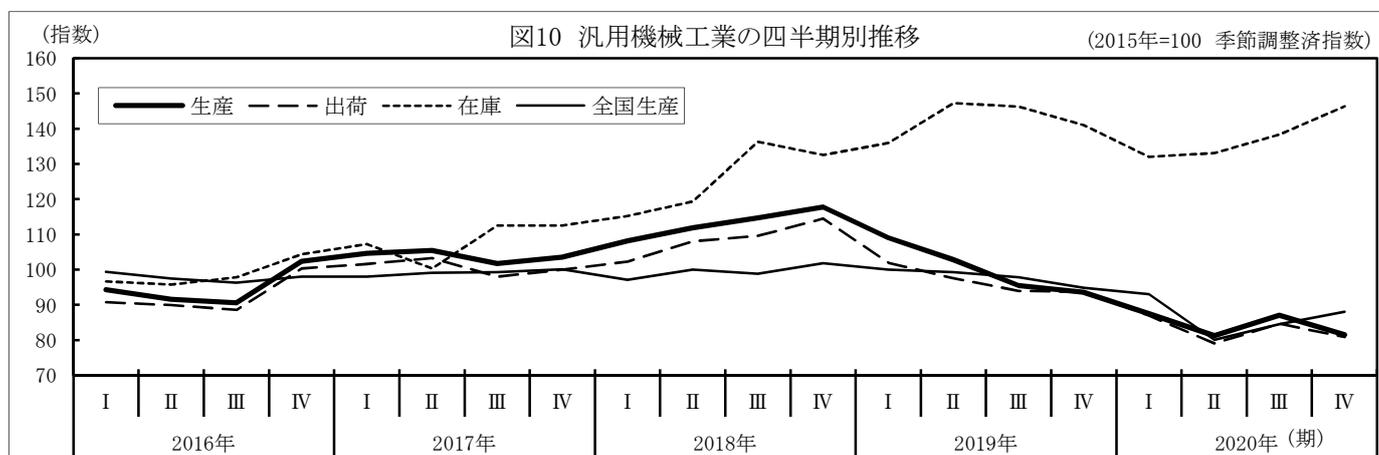
出荷指数(原指数)は、72.5で前年比13.1%低下し、8年連続して低下しました。  
品目別にみると、ばねや飲料用アルミ缶などが減少し、バンディングロール成型鋼管などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、47.5で前年末比5.0%低下し、3年連続して低下しました。  
品目別にみると、飲料用アルミ缶やばねなどが減少し、ガス機器などが増加しました。

## <汎用機械工業>

### －生産、出荷とも2年連続の低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、85.0で前年比14.4%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、蒸気タービン部品や一般用蒸気タービンなどが減少し、真空ポンプなどが増加しました。  
また、全国の汎用機械工業の生産指数(同)は、89.8で前年比12.1%低下し、2年連続して低下しました。

#### <出荷>

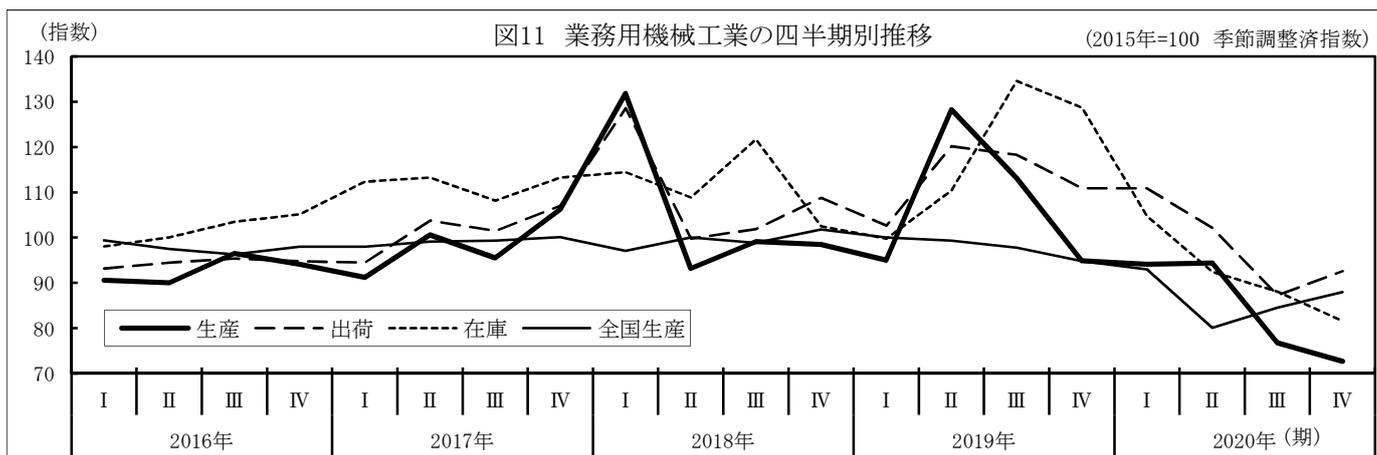
出荷指数(原指数)は、83.6で前年比13.0%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、一般用蒸気タービンや蒸気タービン部品などが減少し、真空ポンプなどが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、146.7で前年末比6.1%上昇し、5年連続して上昇しました。  
品目別にみると、汎用内燃機関やポンプなどが増加し、圧縮機などが減少しました。

## <業務用機械工業>

－生産は2年連続の低下、出荷は4年ぶりの低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、84.6で前年比19.3%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、自動販売機や積算体積計などが減少しました。

また、全国の業務用機械工業の生産指数(同)は、90.6で前年比12.0%低下し、2年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、98.3で前年比12.2%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、工業用計重機や自動販売機などが減少しました。

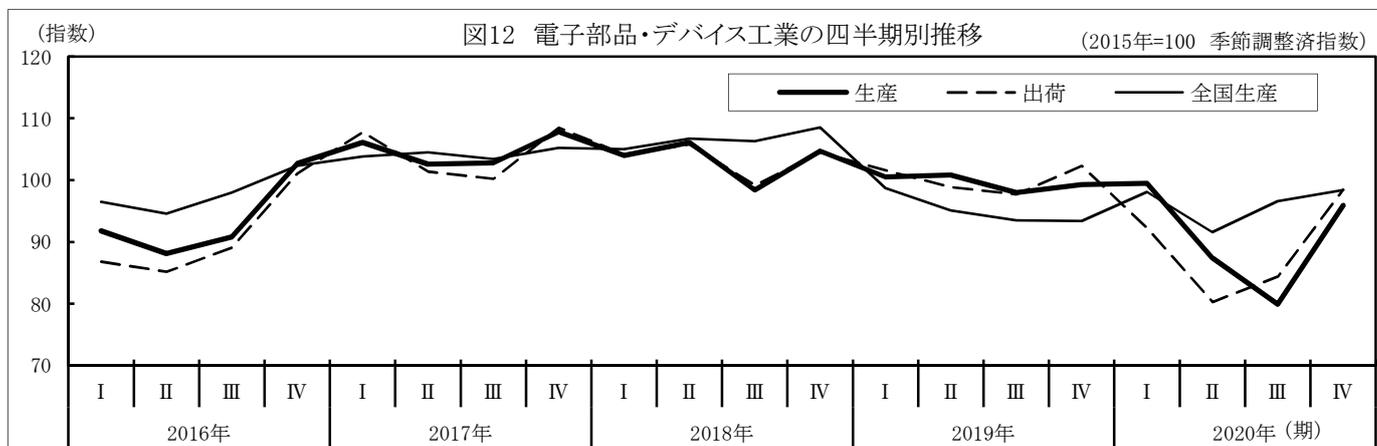
### <在庫>

在庫指数(原指数)は、83.1で前年末比34.0%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、精密測定機や工業用計重機などが減少しました。

## <電子部品・デバイス工業>

－生産、出荷とも3年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、90.7で前年比8.8%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)や磁気テープなどが減少し、コネクタなどが増加しました。

また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、96.4で前年比1.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

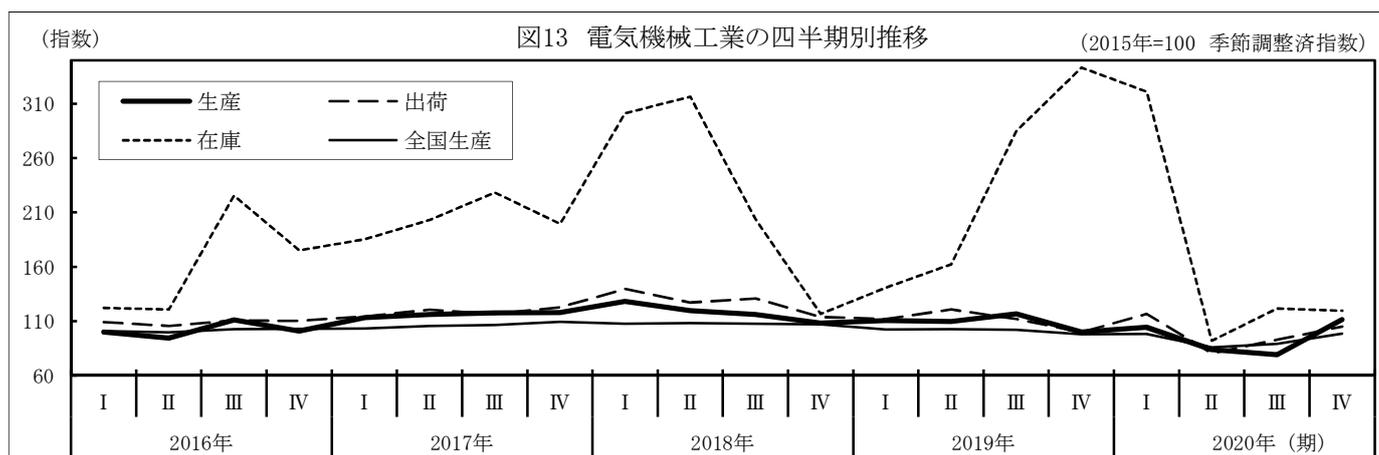
### <出荷>

出荷指数(原指数)は、89.6で前年比10.3%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)や磁気テープなどが減少し、コネクタなどが増加しました。

## <電気機械工業>

### －生産、出荷とも2年連続の低下－



#### <生産>

生産指数(原指数)は、94.7で前年比13.9%低下し、2年連続して低下しました。  
 品目別にみると、リチウムイオン蓄電池や自動車用照明器具などが減少し、交流電動機などが増加しました。  
 また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、93.1で前年比7.8%低下し、2年連続して低下しました。

#### <出荷>

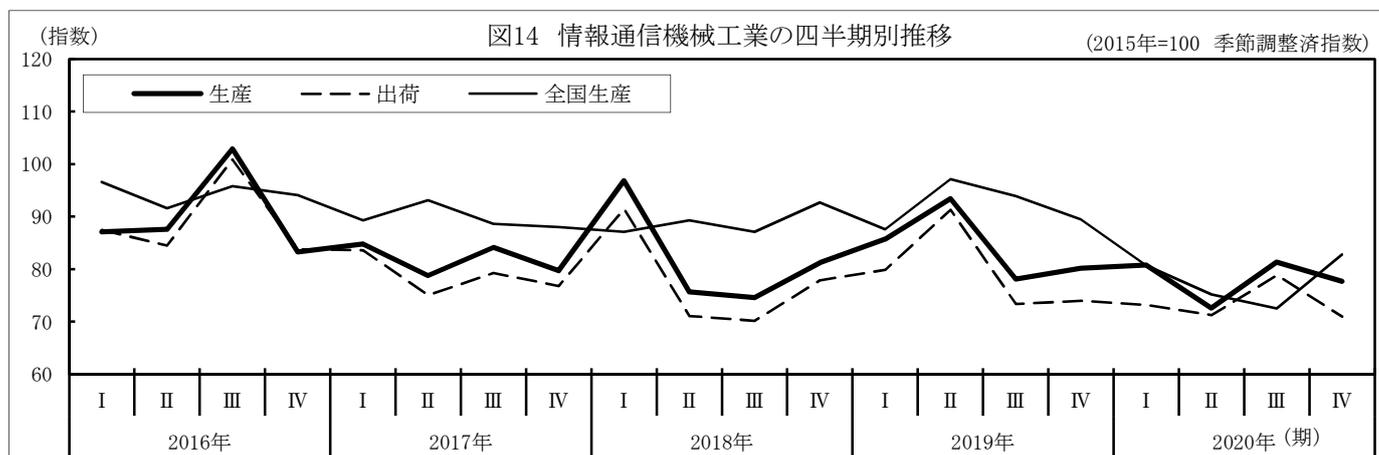
出荷指数(原指数)は、100.2で前年比9.4%低下し、2年連続して低下しました。  
 品目別にみると、自動車用照明器具やその他の電子応用装置などが減少し、交流電動機などが増加しました。

#### <在庫>

在庫指数(原指数)は、121.7で前年末比65.4%低下し、2年ぶりに低下しました。  
 品目別にみると、リチウムイオン蓄電池や換気扇などが減少しました。

## <情報通信機械工業>

### －生産、出荷とも2年ぶりの低下－



#### <生産>

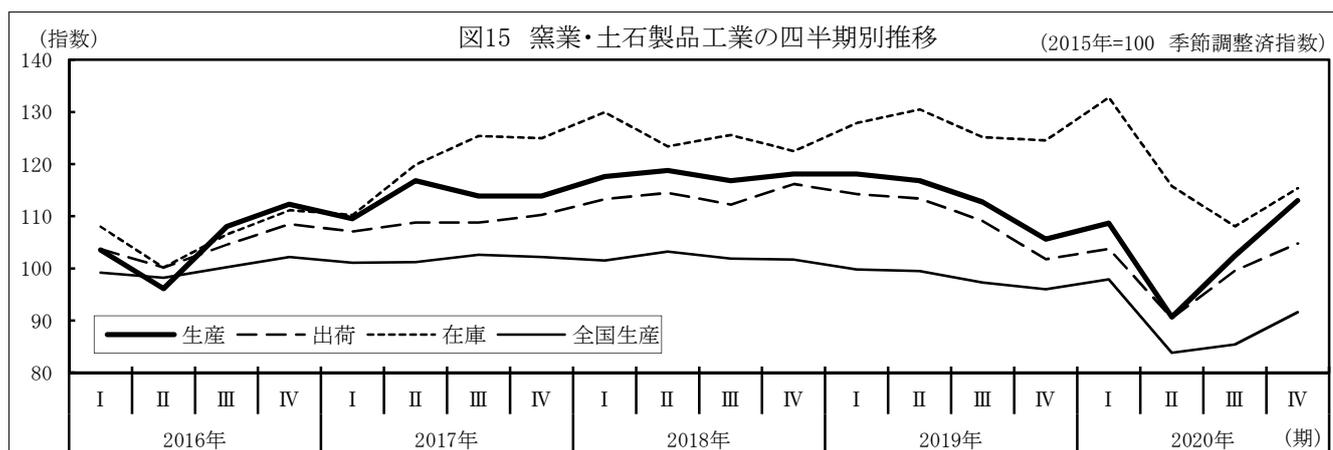
生産指数(原指数)は、79.3で前年比4.3%低下し、2年ぶりに低下しました。  
 品目別にみると、外部記憶装置やデジタル伝送装置などが減少し、放送装置などが増加しました。  
 また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、77.8で前年比14.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

#### <出荷>

出荷指数(原指数)は、74.2で前年比4.1%低下し、2年ぶりに低下しました。  
 品目別にみると、外部記憶装置やパーソナルコンピュータなどが減少し、放送装置などが増加しました。

## <窯業・土石製品工業>

—生産、出荷とも2年連続の低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、104.1で前年比8.0%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、ガラス製容器類や複層ガラスなどが減少し、触媒担体・セラミックフィルタなどが増加しました。  
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、89.6で前年比8.5%低下し、2年連続して低下しました。

### <出荷>

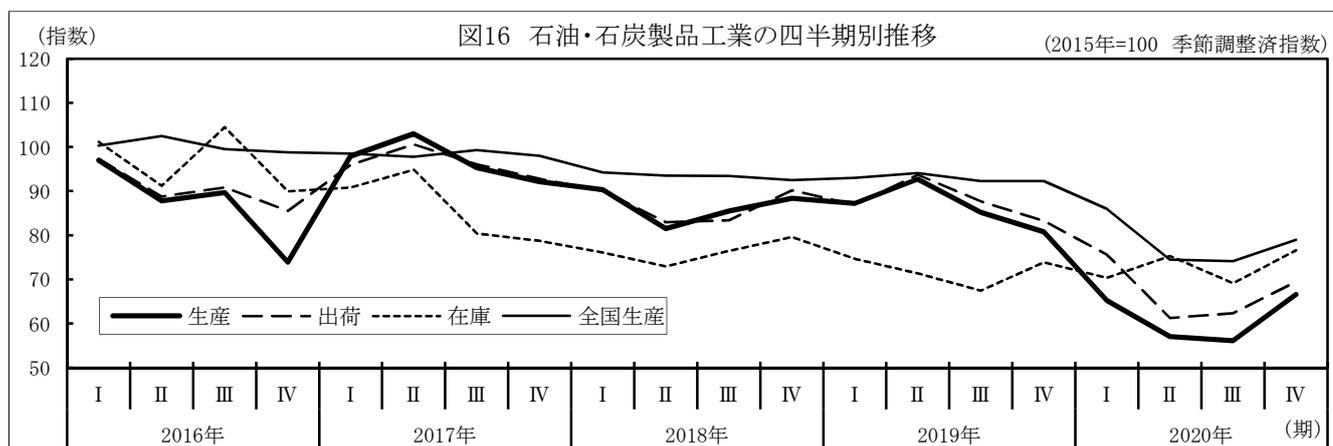
出荷指数(原指数)は、99.8で前年比8.5%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、ガラス短繊維製品や安全ガラスなどが減少し、ファインセラミックス構造材などが増加しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、109.0で前年末比9.1%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、ガラス短繊維製品やガラス基礎製品などが減少し、安全ガラスなどが増加しました。

## <石油・石炭製品工業>

—生産、出荷とも2年ぶりの低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、61.7で前年比28.6%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、B・C重油が増加しました。  
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、78.5で前年比15.6%低下し、4年連続して低下しました。

### <出荷>

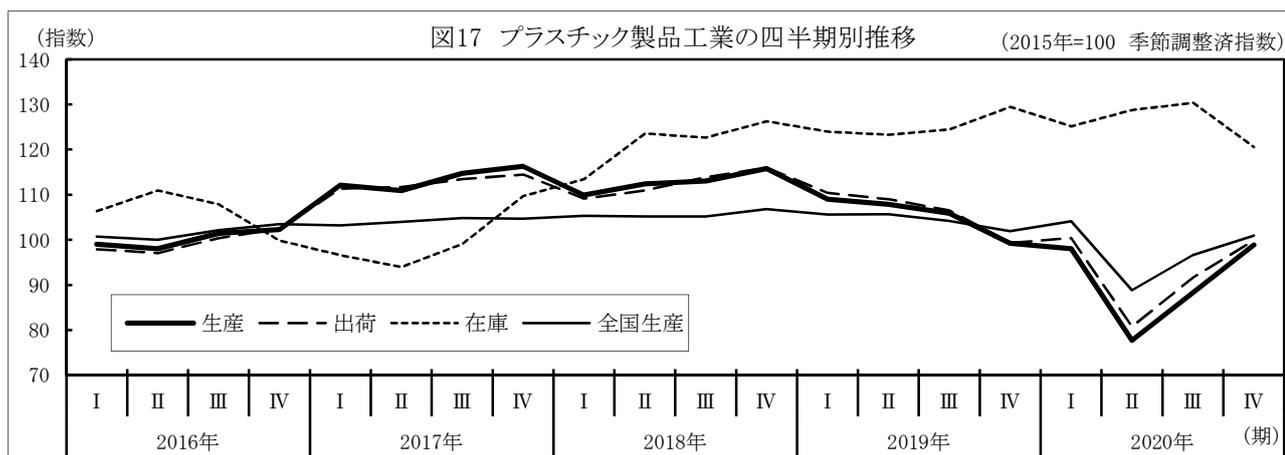
出荷指数(原指数)は、67.5で前年比22.9%低下し、2年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、B・C重油が増加しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、72.8で前年末比5.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。  
品目別にみると、ガソリンやナフサなどが増加し、B・C重油などが減少しました。

## <プラスチック製品工業>

－生産、出荷とも3年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、91.1で前年比13.3%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製板などが減少し、プラスチック製フィルム・シートなどが増加しました。

また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、97.6で前年比6.3%低下し、2年連続して低下しました。

### <出荷>

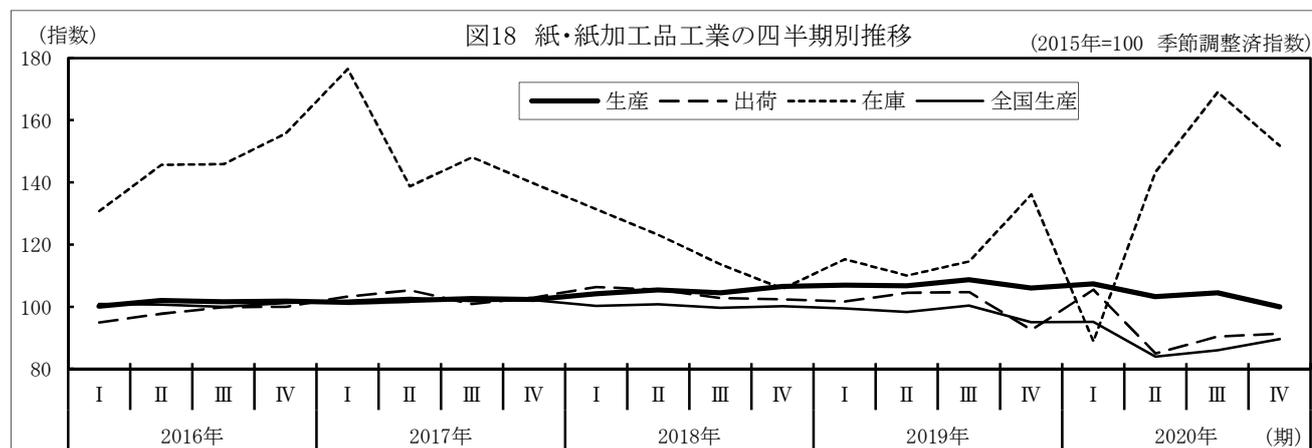
出荷指数(原指数)は、93.6で前年比11.5%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製板などが減少し、プラスチック製フィルム・シートなどが増加しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、118.9で前年末比7.7%低下し、4年ぶりに低下しました。品目別にみると、プラスチック製フィルム・シートやプラスチック製容器などが減少し、日用品・雑貨プラスチック製品が増加しました。

## <紙・紙加工品工業>

－生産は11年ぶりの低下、出荷は2年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、103.9で前年比2.6%低下し、11年ぶりに低下しました。品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、88.7で前年比9.7%低下し、3年連続して低下しました。

### <出荷>

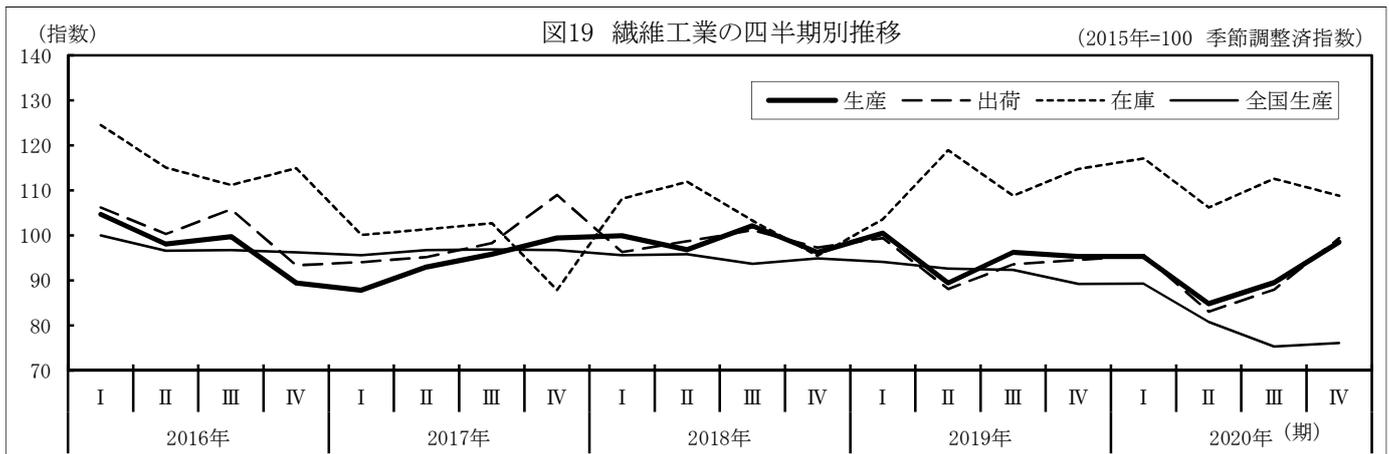
出荷指数(原指数)は、93.6で前年比6.4%低下し、2年連続して低下しました。品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが減少しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、136.2で前年末比14.6%上昇し、2年連続して上昇しました。品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

## <繊維工業>

－生産は2年連続の低下、出荷は4年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、92.1で前年比3.2%低下し、2年連続して低下しました。  
品目別にみると、ニット・織物製外衣やふとんなどが減少し、不織布が増加しました。  
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、80.4で前年比12.5%低下し、9年連続して低下しました。

### <出荷>

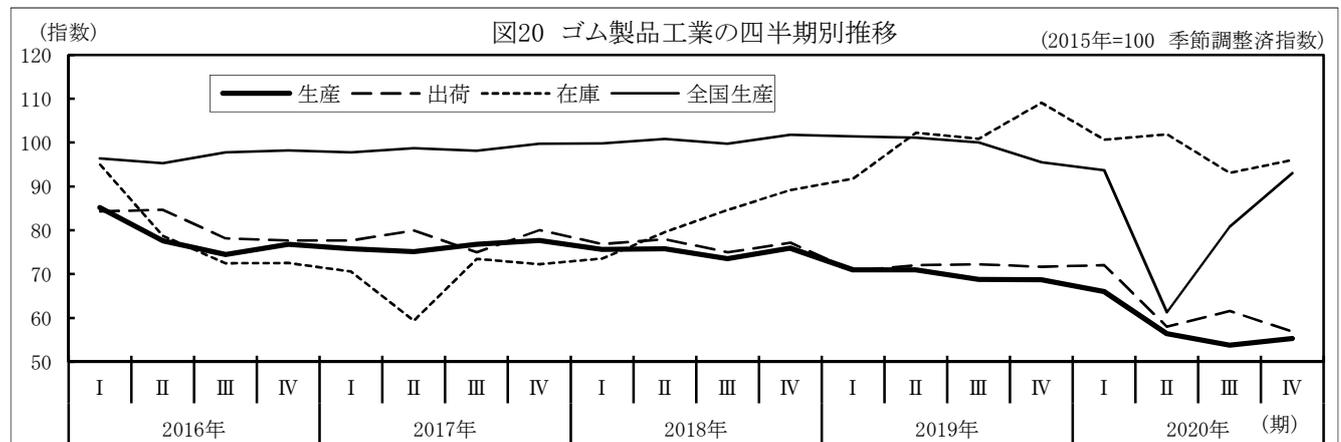
出荷指数(原指数)は、92.0で前年比2.9%低下し、4年連続して低下しました。  
品目別にみると、ふとんやニット・織物製外衣が減少し、不織布などが増加しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、106.6で前年末比6.6%低下し、3年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、不織布や合成繊維などが減少し、ふとんが増加しました。

## <ゴム製品工業>

－生産、出荷とも8年連続の低下－



### <生産>

生産指数(原指数)は、58.3で前年比16.6%低下し、8年連続して低下しました。  
品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースなどが減少しました。  
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、82.3で前年比17.2%低下し、2年連続して低下しました。

### <出荷>

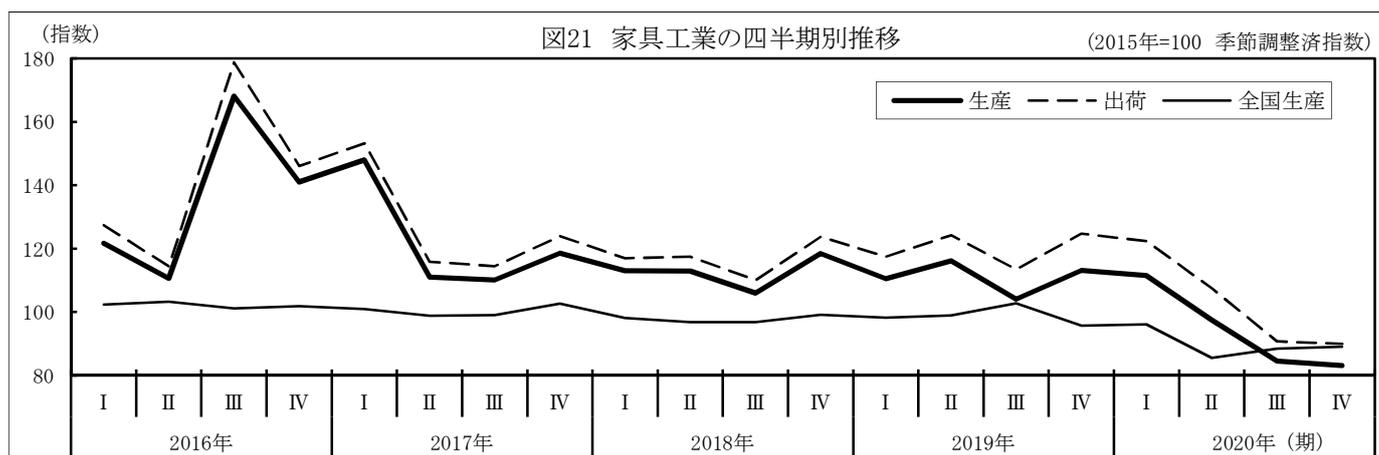
出荷指数(原指数)は、62.2で前年比13.2%低下し、8年連続して低下しました。  
品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースなどが減少しました。

### <在庫>

在庫指数(原指数)は、87.7で前年末比11.6%低下し、3年ぶりに低下しました。  
品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースなどが減少しました。

## <家具工業>

—生産は4年連続の低下、出荷は2年ぶりの低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、95.4で前年比14.4%低下し、4年連続して低下しました。

品目別にみると、金属製いすやその他の金属製家具などが減少しました。

また、全国の家具工業の生産指数(同)は、90.1で前年比8.5%低下し、2年ぶりに低下しました。

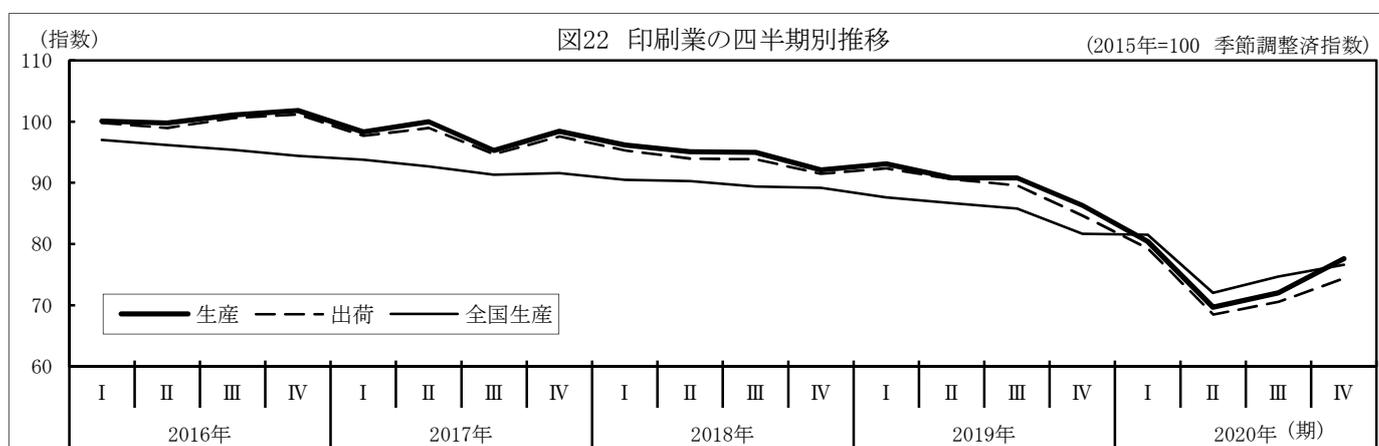
### <出荷>

出荷指数(原指数)は、103.4で前年比14.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、金属製いすやその他の金属製家具などが減少しました。

## <印刷業>

—生産、出荷とも4年連続の低下—



### <生産>

生産指数(原指数)は、75.2で前年比16.7%低下し、4年連続して低下しました。

品目別にみると、商業印刷や建装材印刷などが減少しました。

また、全国の印刷業の生産指数(同)は、76.2で前年比10.6%低下し、5年連続して低下しました。

### <出荷>

出荷指数(原指数)は、73.5で前年比17.7%低下し、4年連続して低下しました。

品目別にみると、商業印刷や建装材印刷などが減少しました。

### 3 財別の出荷動向

#### ー 最終需要財、生産財とも3年連続の低下 ー

2020年の出荷動向を特殊分類による財別で見ると、最終需要財出荷指数（原指数）は、85.6で前年比14.7%低下し、3年連続して低下しました。

また、生産財出荷指数（原指数）は、77.3で前年比18.5%低下し、3年連続して低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財は、Ⅰ期は前期比1.7%低下、Ⅱ期も同16.9%低下、Ⅲ期は同2.5%上昇、Ⅳ期も同4.3%上昇しました。生産財は、Ⅰ期は前期比6.0%低下、Ⅱ期も同21.4%低下、Ⅲ期は同11.9%上昇、Ⅳ期も同7.5%上昇しました。

#### (1) 最終需要財

##### ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、77.7で前年比12.4%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、普通トラックやマシニングセンタなどが減少し、半導体製造装置などが増加しました。

建設財出荷指数（原指数）は、91.0で前年比8.7%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、ガラス短繊維製品やプラスチック製板などが減少し、バンディングロール成型鋼管などが増加しました。

##### イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数（原指数）は、92.1で前年比46.2%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、小型乗用車や普通乗用車などが減少しました。

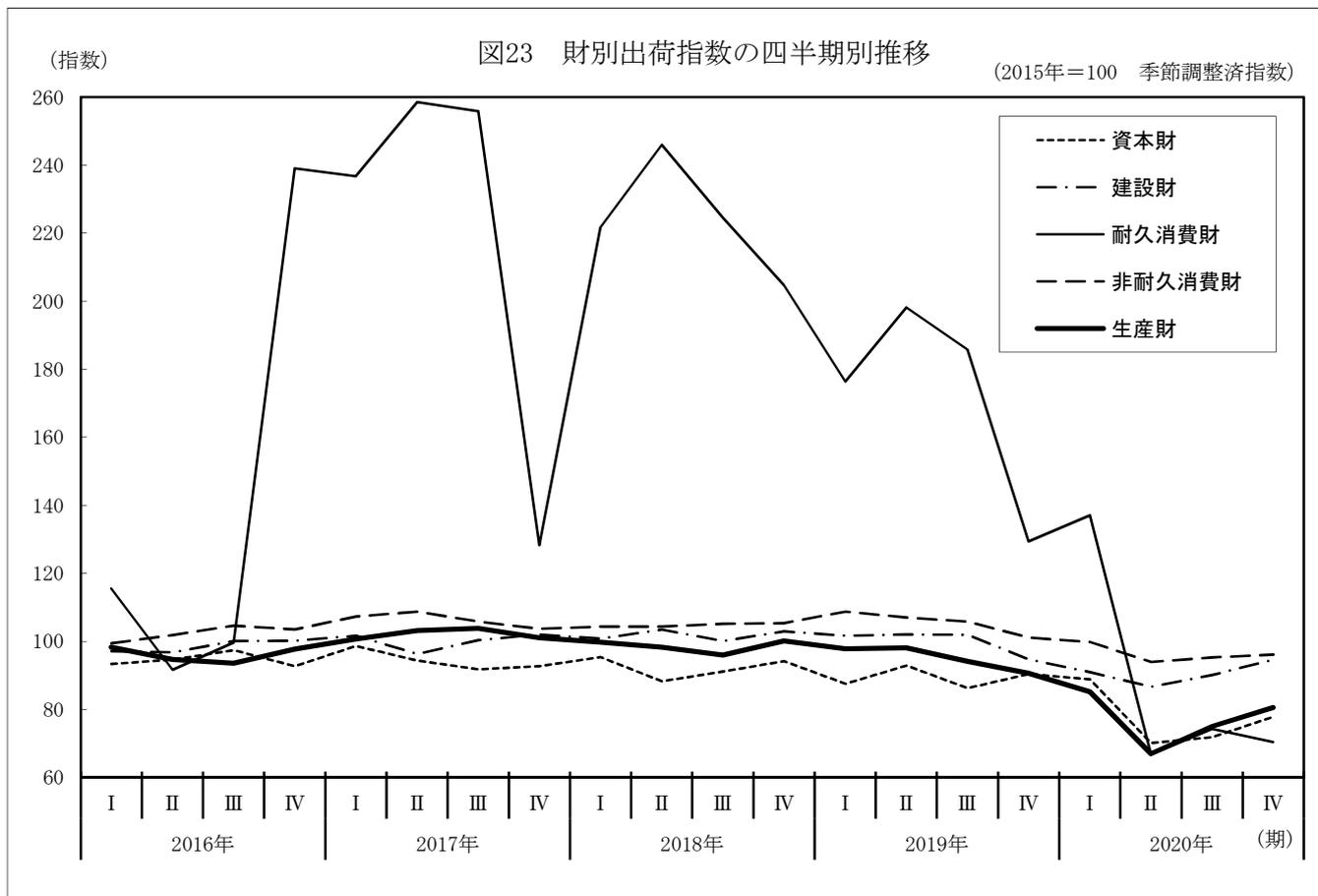
非耐久消費財出荷指数（原指数）は、96.2で前年比8.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ガソリンや化粧品などが減少し、合成洗剤などが増加しました。

#### (2) 生産財

品目別にみると、エンジン（自動車用）やガソリンなどが減少し、交流電動機などが増加しました。

(P19図23、P20表9・表10 参照)



(特殊分類についてはP82、P84表11参照)

表 9 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(2015年=100)

財	年・期	2017年	2018年	2019年	2020年	2019年	2020年			
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	104.6	102.1	97.7	81.4	94.1	90.9	73.3	78.2	82.3
	対前年(期)増減率%	6.2	△ 2.4	△ 4.3	△ 16.7	△ 3.2	△ 3.4	△ 19.4	6.7	5.2
最終需要財	指数	107.1	105.7	100.4	85.6	97.3	95.6	79.4	81.4	84.9
	対前年(期)増減率%	6.5	△ 1.3	△ 5.0	△ 14.7	△ 3.3	△ 1.7	△ 16.9	2.5	4.3
投資財	指数	95.4	93.2	90.0	79.2	91.0	89.3	72.0	74.0	79.8
	対前年(期)増減率%	0.3	△ 2.3	△ 3.4	△ 12.0	3.5	△ 1.9	△ 19.4	2.8	7.8
資本財	指数	94.7	92.1	88.7	77.7	90.5	88.9	70.2	71.9	77.9
	対前年(期)増減率%	0.0	△ 2.7	△ 3.7	△ 12.4	4.9	△ 1.8	△ 21.0	2.4	8.3
建設財	指数	100.8	102.1	99.7	91.0	94.8	91.0	86.7	90.2	94.7
	対前年(期)増減率%	2.6	1.3	△ 2.4	△ 8.7	△ 7.1	△ 4.0	△ 4.7	4.0	5.0
消費財	指数	125.3	125.0	116.6	95.5	106.6	105.5	90.5	92.1	93.7
	対前年(期)増減率%	14.8	△ 0.2	△ 6.7	△ 18.1	△ 11.3	△ 1.0	△ 14.2	1.8	1.7
耐久消費財	指数	214.8	221.5	171.2	92.1	129.4	137.1	66.8	74.3	70.4
	対前年(期)増減率%	51.9	3.1	△ 22.7	△ 46.2	△ 30.4	6.0	△ 51.3	11.2	△ 5.2
非耐久消費財	指数	106.7	104.9	105.3	96.2	101.2	99.9	94.0	95.3	96.2
	対前年(期)増減率%	4.2	△ 1.7	0.4	△ 8.6	△ 4.4	△ 1.3	△ 5.9	1.4	0.9
生産財	指数	102.1	98.6	94.9	77.3	90.6	85.2	67.0	75.0	80.6
	対前年(期)増減率%	6.0	△ 3.4	△ 3.8	△ 18.5	△ 3.7	△ 6.0	△ 21.4	11.9	7.5

\*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目	
生産財	△ 18.5	△ 8.99	増	交流電動機、コネクタ、B・C重油など
			減	エンジン(自動車用)、ガソリン、軽油など
資本財	△ 12.4	△ 3.05	増	半導体製造装置、プレス用金型、光ファイバ通信用ケーブルなど
			減	普通トラック、マシニングセンタ、一般用蒸気タービンなど
耐久消費財	△ 46.2	△ 2.74	増	—
			減	小型乗用車、普通乗用車、パーソナルコンピュータなど
非耐久消費財	△ 8.6	△ 1.52	増	合成洗剤、アイスクリーム、漂白剤など
			減	ガソリン、化粧品、清涼飲料(炭酸飲料除く)など
建設財	△ 8.7	△ 0.30	増	バンディングロール成型鋼管、ガス機器、エレベータなど
			減	ガラス短繊維製品、プラスチック製板、普通鋼鋼板など

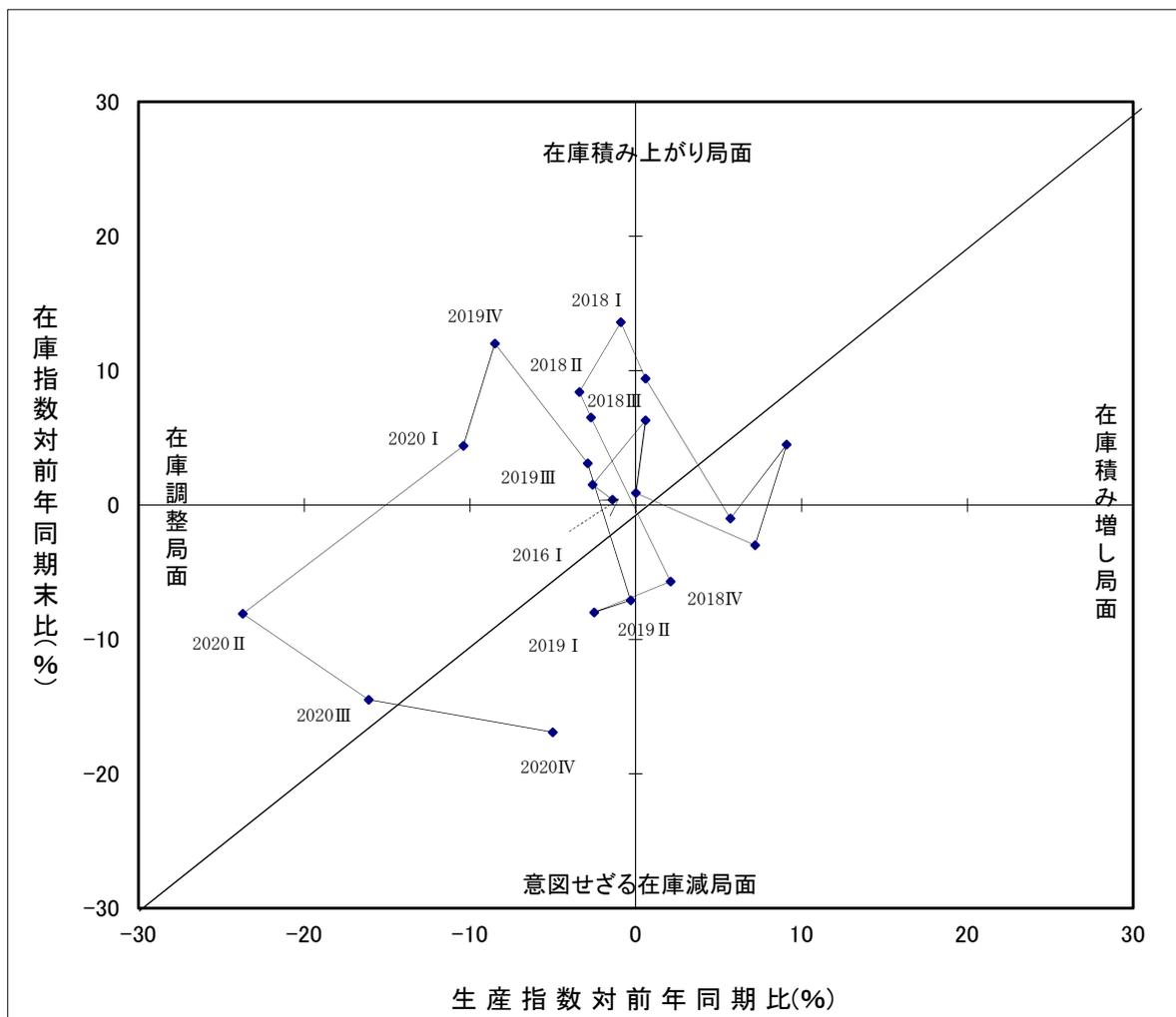
## <参考>在庫循環図

2020年Ⅰ期の生産指数(原指数)は前年同月比10.4%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比4.4%上昇しました。Ⅱ期の生産指数(同)は前年同月比23.7%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比8.1%低下しました。Ⅲ期の生産指数(同)は前年同月比16.1%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比14.5%低下しました。Ⅳ期の生産指数(同)は前年同期比5.0%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比16.9%低下しました。

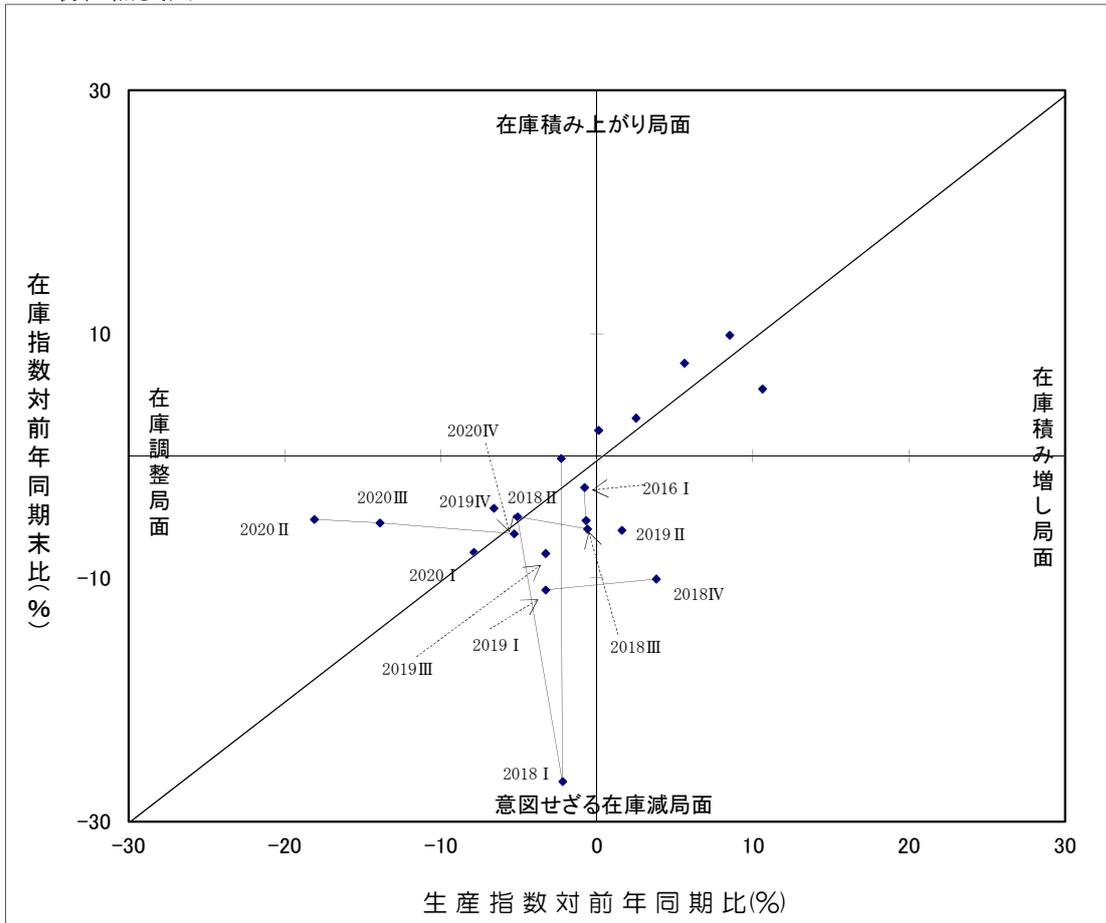
※在庫循環図の見方(生産と在庫について、以下のような循環がみられることが多い。)

- 意図せざる在庫減局面:需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面:生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面:需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面:生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

### 製造工業



最終需要財



生産財

